

形状を変化させた栄養剤に関する 全国調査

第3回『胃瘦と栄養について』アンケート調査結果

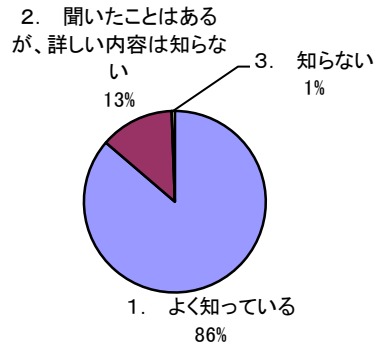
2008年1月

日本栄養材 形状機能研究会
NPO法人 PDN(PEGドクターズネットワーク)

第3回『胃瘻と栄養についてのアンケート』

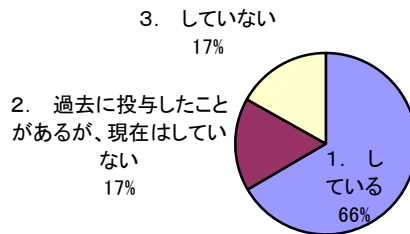
設問	件数	1.	2.	3.
Q1.		86%	13%	1%
	350	302	46	2

Q1. 現在、液体の栄養剤から寒天等で形状を変化させて投与することが多く行われるようになってきましたが、このことをよく知っていますか？



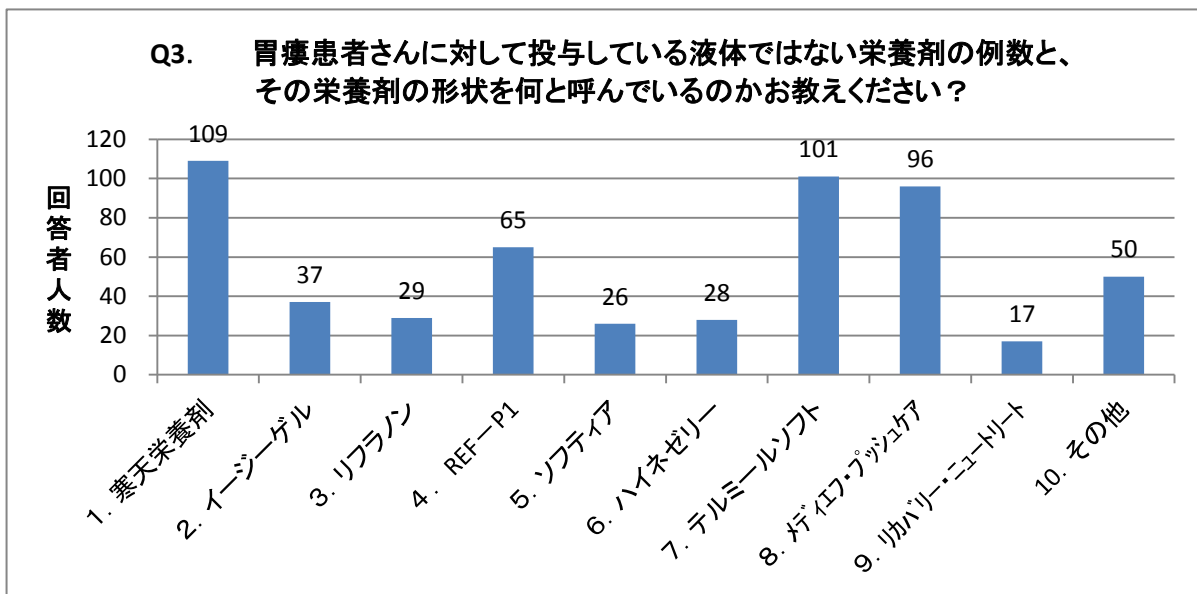
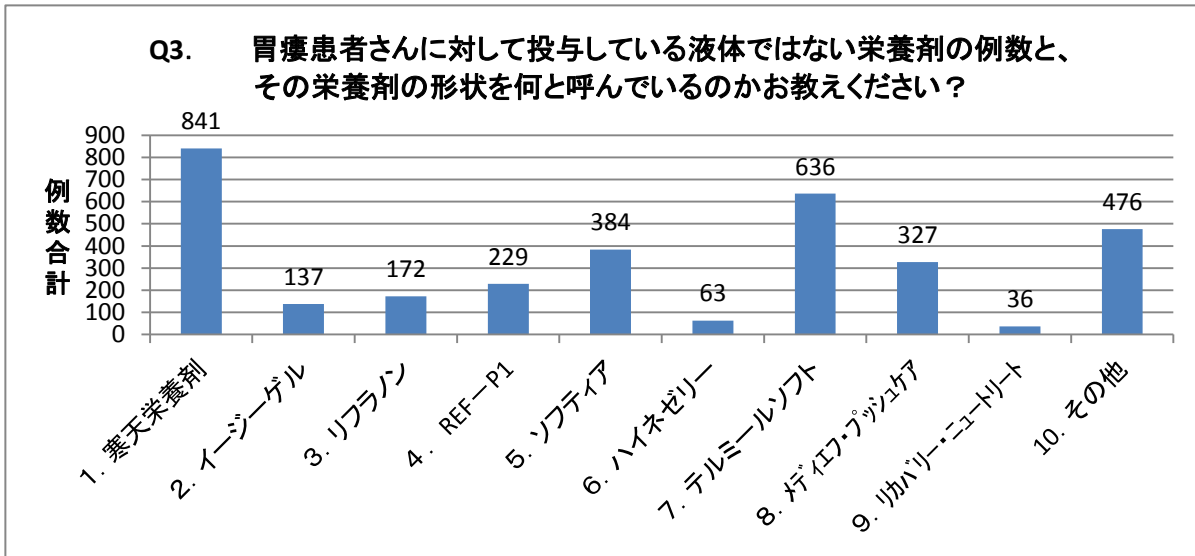
設問	件数	1.	2.	3.
Q2.		67%	17%	17%
	350	233	58	59

Q2. 胃瘻患者さんに対して、液体ではない栄養剤を投与していますか？

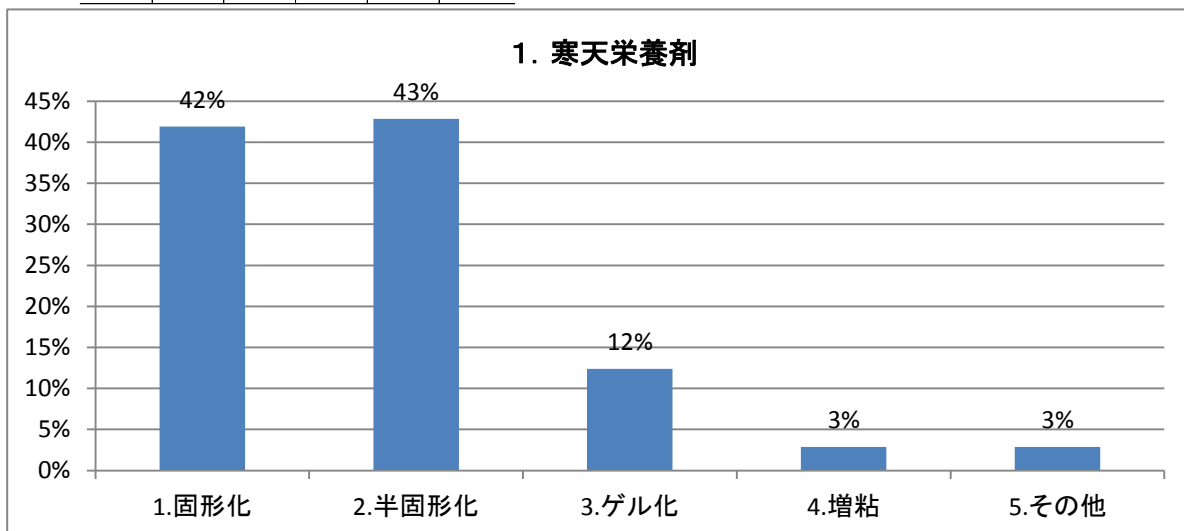


第3回『胃瘻と栄養についてのアンケート』

設問	件数	1. 寒天	2. イー	3. リフ	4. RE	5. ソフ	6. ハイ	7. テ	8. メ	9. リカ	10. そ
Q3. 例数	3301	841	137	172	229	384	63	636	327	36	476
回答数	558	109	37	29	65	26	28	101	96	17	50

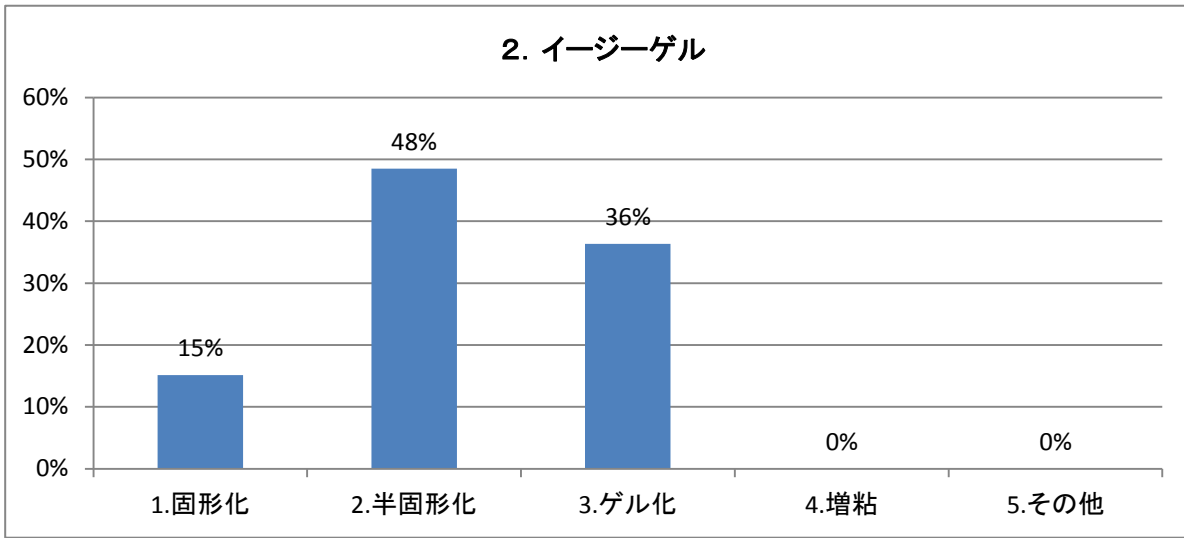


設問	件数	1. 固形	2. 半固	3. ゲル	4. 増粘	5. その他
1. 寒天栄養剤	42%	43%	12%	3%	3%	
	105	44	45	13	3	

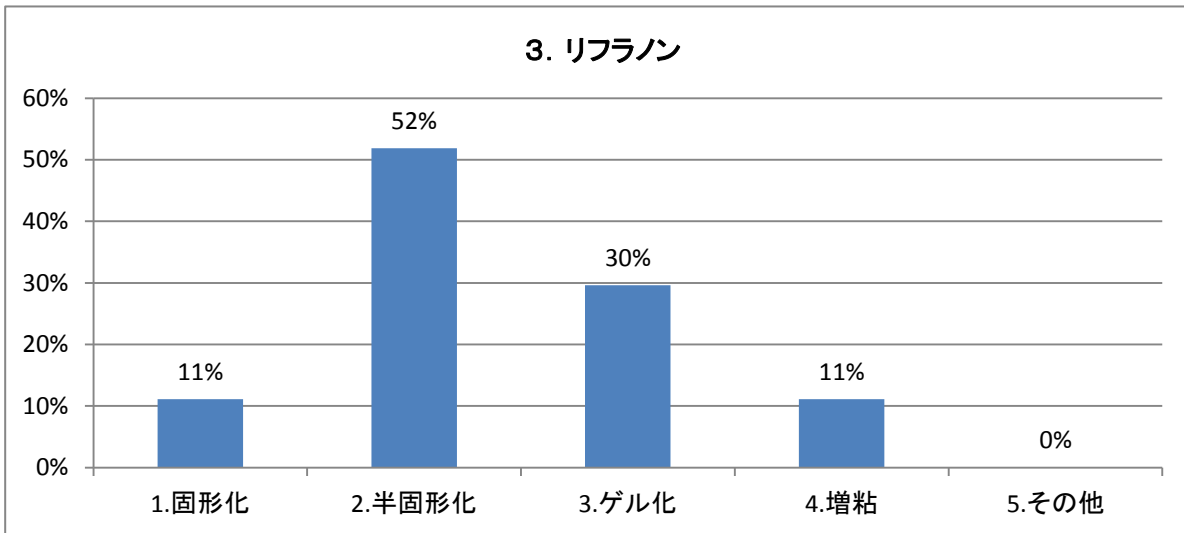


第3回『胃瘦と栄養についてのアンケート』

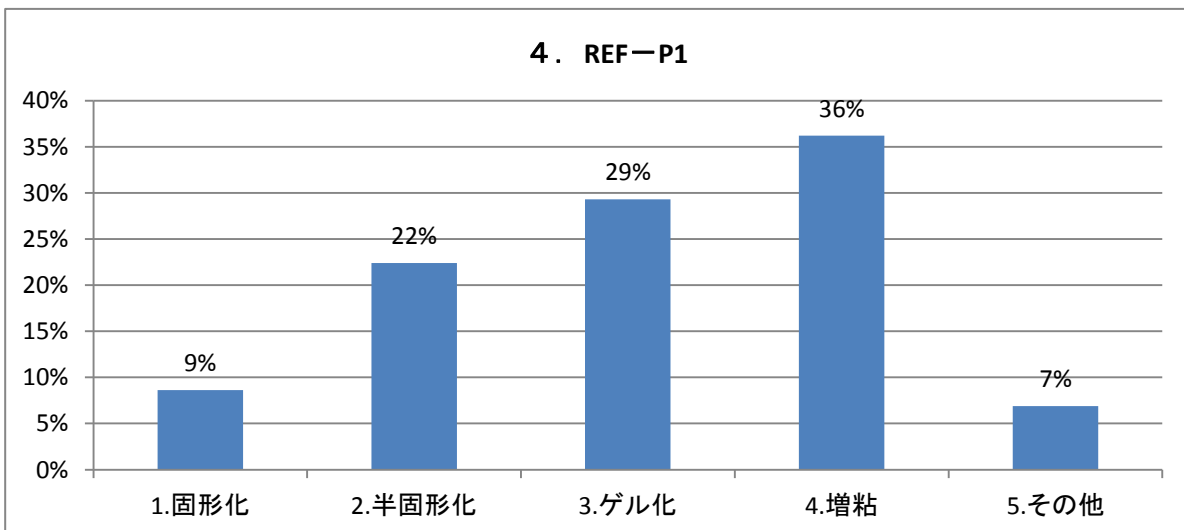
設問	件数	1. 固形	2. 半固	3. ゲル	4. 増粘	5. その他
2. イージーゲル		15%	48%	36%	0%	0%
	33	5	16	12	0	0



設問	件数	1. 固形	2. 半固	3. ゲル	4. 増粘	5. その他
3. リフラノン		11%	52%	30%	11%	0%
	27	3	14	8	3	0

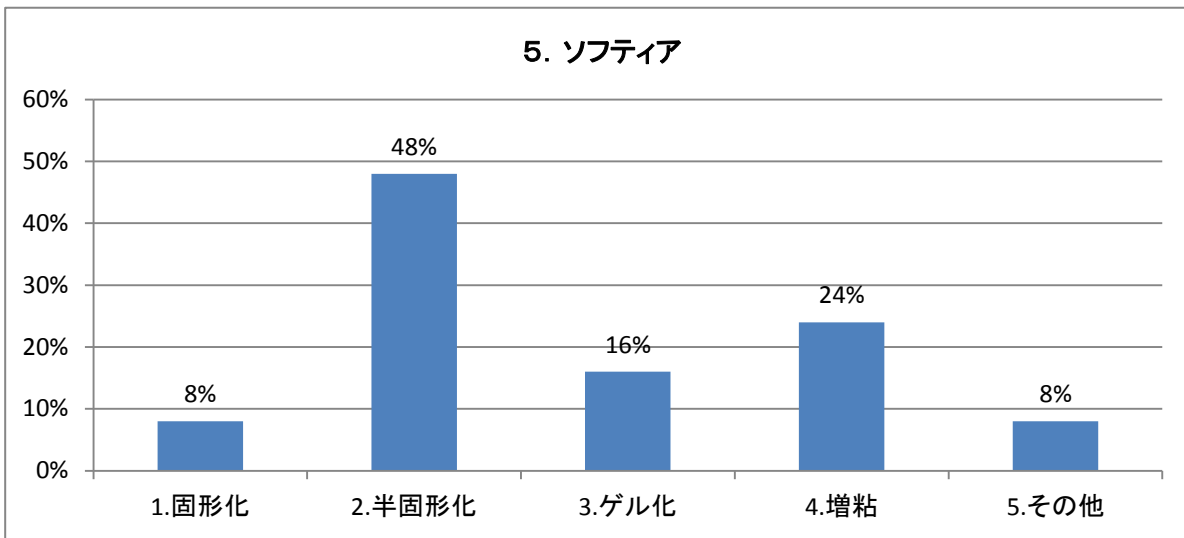


設問	件数	1. 固形	2. 半固	3. ゲル	4. 増粘	5. その他
4. REF-P1		9%	22%	29%	36%	7%
	58	5	13	17	21	4

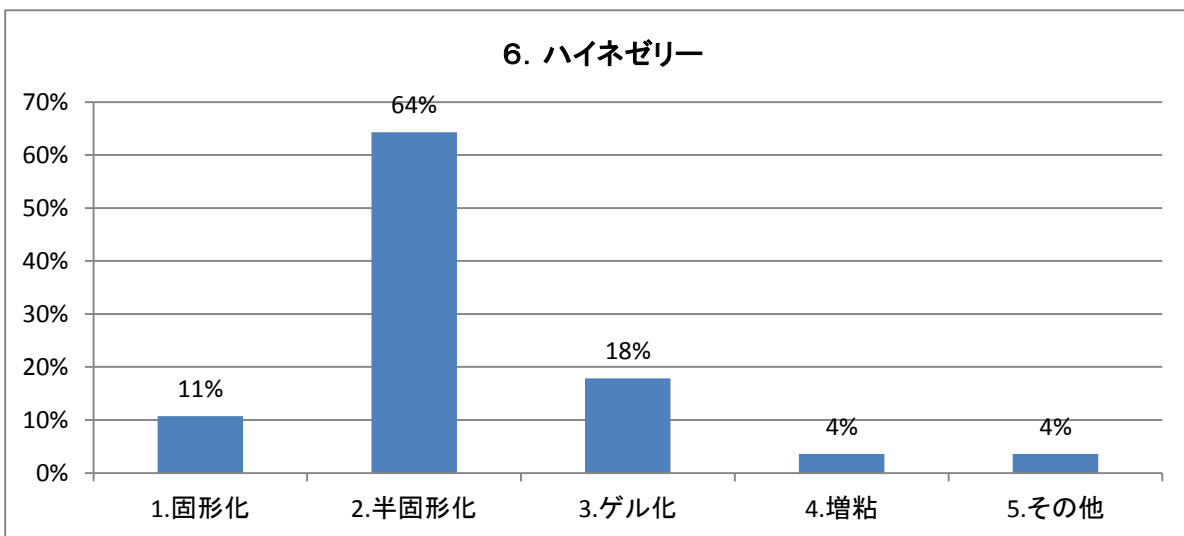


第3回『胃瘦と栄養についてのアンケート』

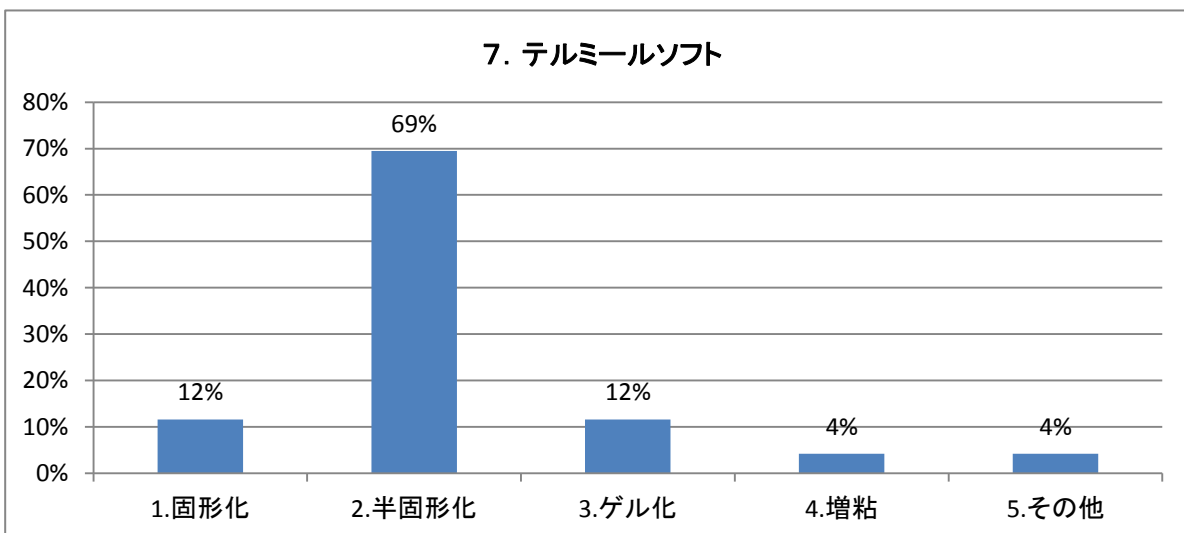
設問	件数	1. 固形	2. 半固	3. ゲル	4. 増粘	5. その他
5. ソフティア		8%	48%	16%	24%	8%
	25	2	12	4	6	2



設問	件数	1. 固形	2. 半固	3. ゲル	4. 増粘	5. その他
6. ハイネゼリー		11%	64%	18%	4%	4%
	28	3	18	5	1	1

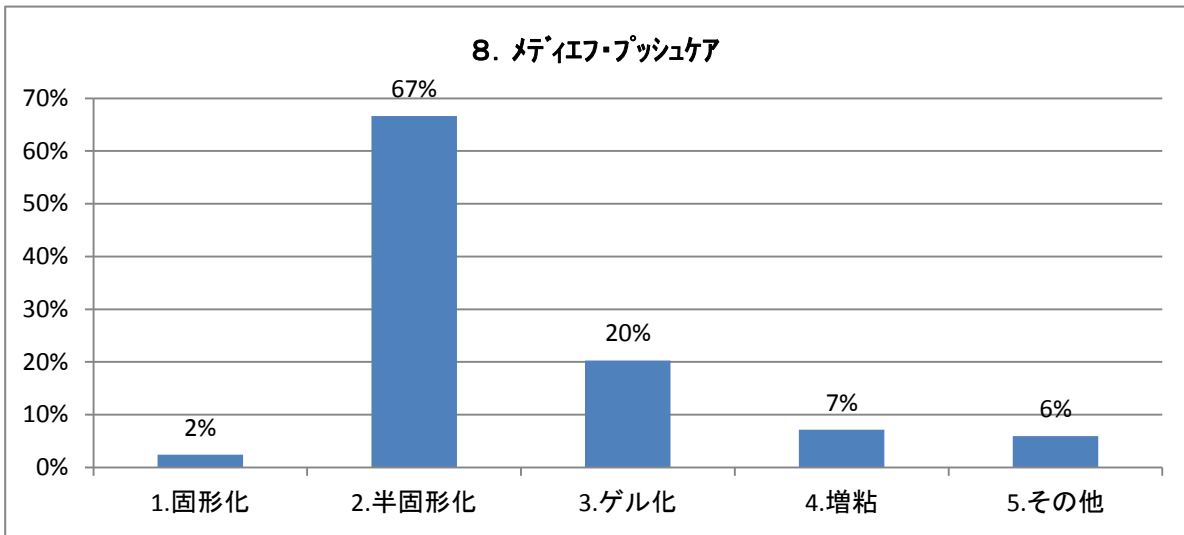


設問	件数	1. 固形	2. 半固	3. ゲル	4. 増粘	5. その他
7. テルミールソフト		12%	69%	12%	4%	4%
	95	11	66	11	4	4

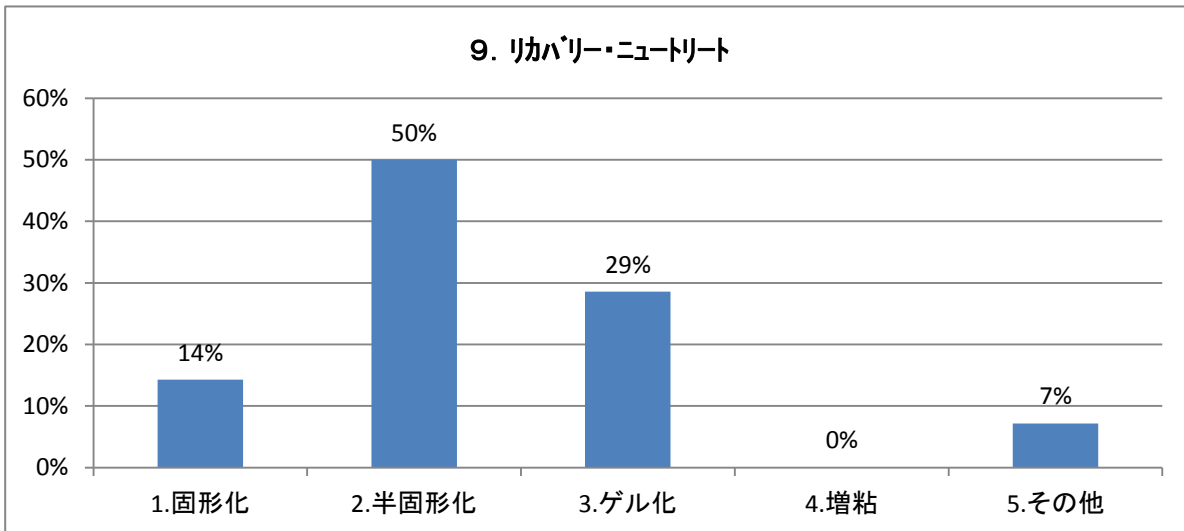


第3回『胃瘦と栄養についてのアンケート』

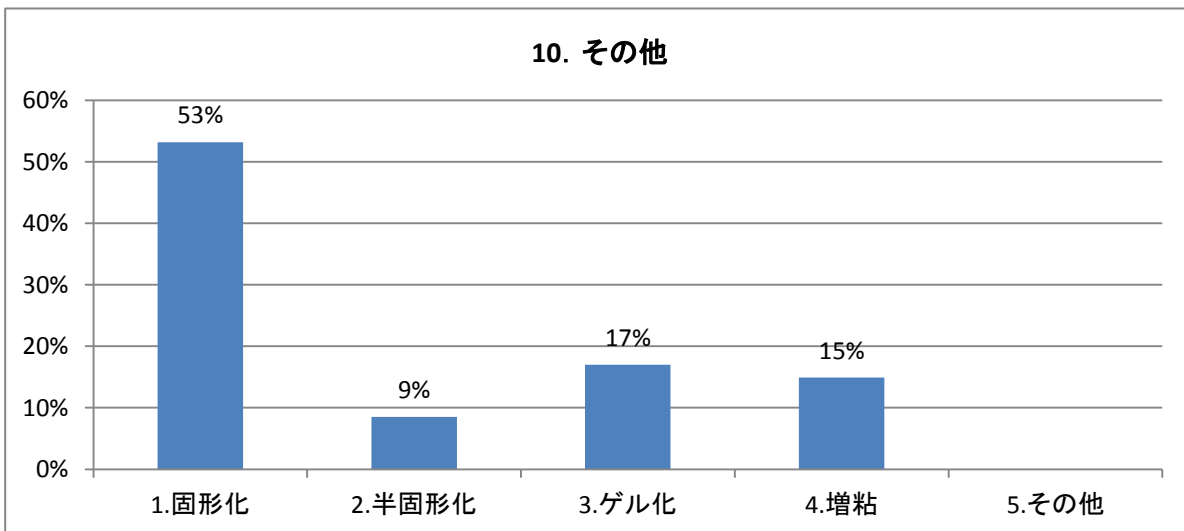
設問	件数	1. 固形	2. 半固	3. ゲル	4. 増粘	5. その他
8. メディエフ・プッシュケア		2%	67%	20%	7%	6%
	84	2	56	17	6	5



設問	件数	1. 固形	2. 半固	3. ゲル	4. 増粘	5. その他
9. リカバリー・ニュートリート		14%	50%	29%	0%	7%
	14	2	7	4	0	1

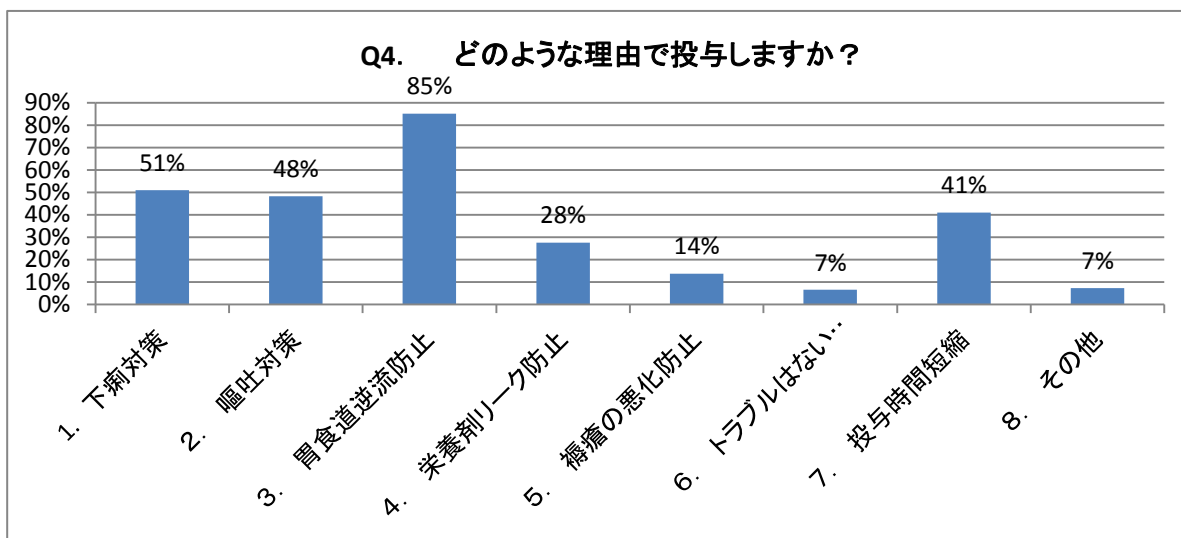


設問	件数	1. 固形	2. 半固	3. ゲル	4. 増粘	5. その他
10. その他		11%	53%	9%	17%	15%
	47	5	25	4	8	7



第3回『胃瘻と栄養についてのアンケート』

設問	件数	1.	2.	3.	4.	5.	6.	7.	8.	
Q4.		51%	48%	85%	28%	14%	7%	41%	7%	
		290	148	140	247	80	40	19	119	21

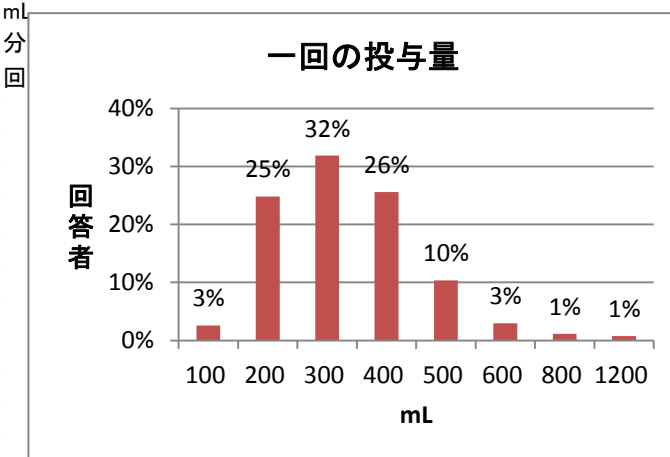


設問

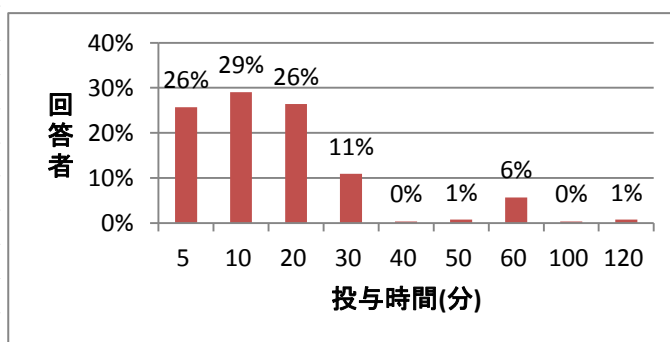
Q5. 形状を変化させた栄養剤の1回の投与量と投与時間は大体どれくらいですか？

また、1日に何回投与していますか？

	件数	平均	最小	最大	多回答
1回の投与量	270	330	50	1200	300
投与時間	265	17	1	120	10
投与回数	275	3	1	8	3

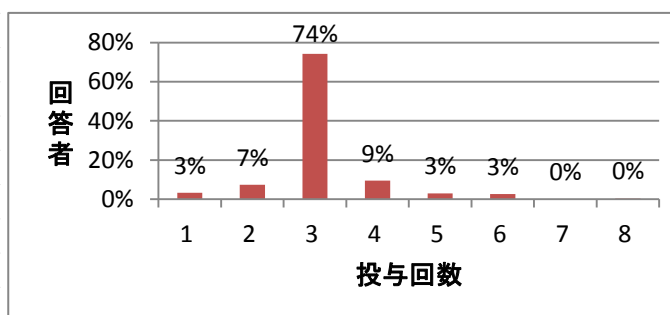


1回の投与量(mL)	回答者数
0～ 100	7 3%
101～ 200	67 25%
201～ 300	86 32%
301～ 400	69 26%
401～ 500	28 10%
501～ 600	8 3%
601～ 800	3 1%
801～ 1200	2 1%



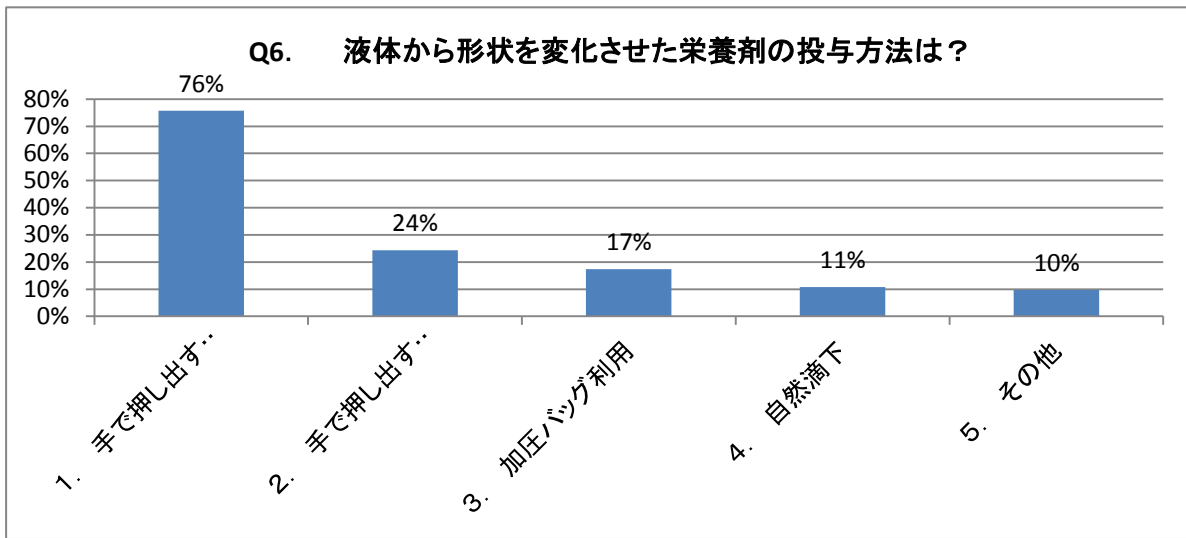
投与時間(分)	回答者数
0～ 5	68 26%
6～ 10	77 29%
11～ 20	70 26%
21～ 30	29 11%
31～ 40	1 0%
41～ 50	2 1%
51～ 60	15 6%
61～ 100	1 0%
101～ 120	2 1%

投与回数	回答者数
1	9 3%
2	20 7%
3	204 74%
4	26 9%
5	8 3%
6	7 3%
7	0 0%
8	1 0%

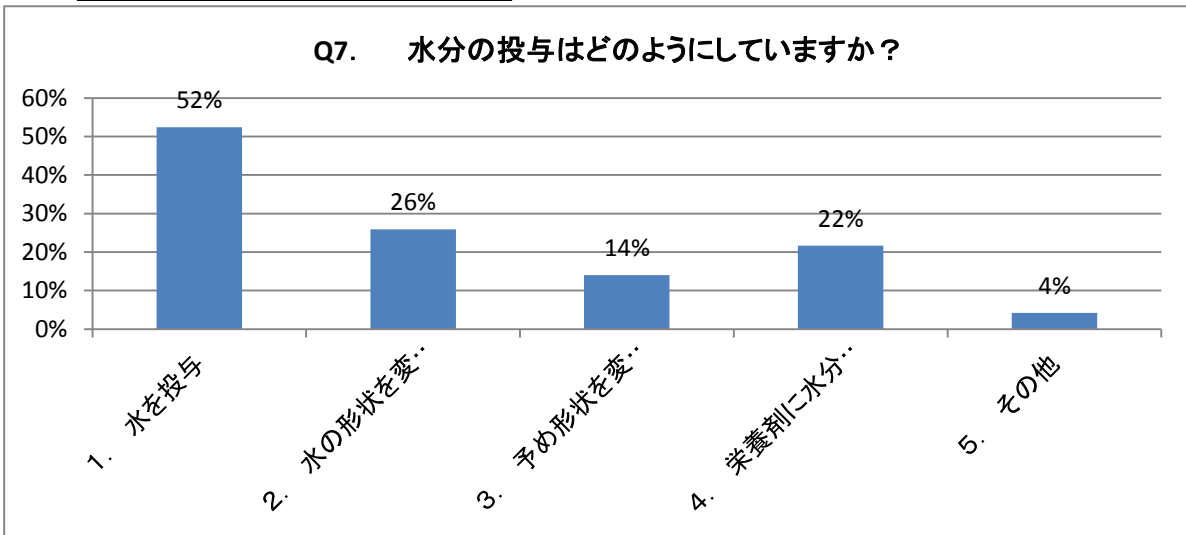


第3回『胃瘻と栄養についてのアンケート』

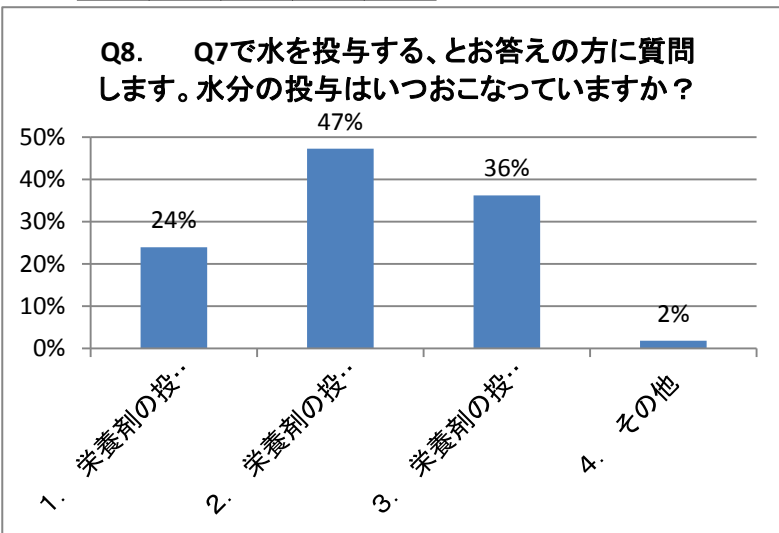
設問	件数	1.	2.	3.	4.	5.	
Q6.		76%	24%	17%	11%	10%	
	288	218	70	50	31	28	



設問	件数	1.	2.	3.	4.	5.	
Q7.		52%	26%	14%	22%	4%	
	286	150	74	40	62	12	



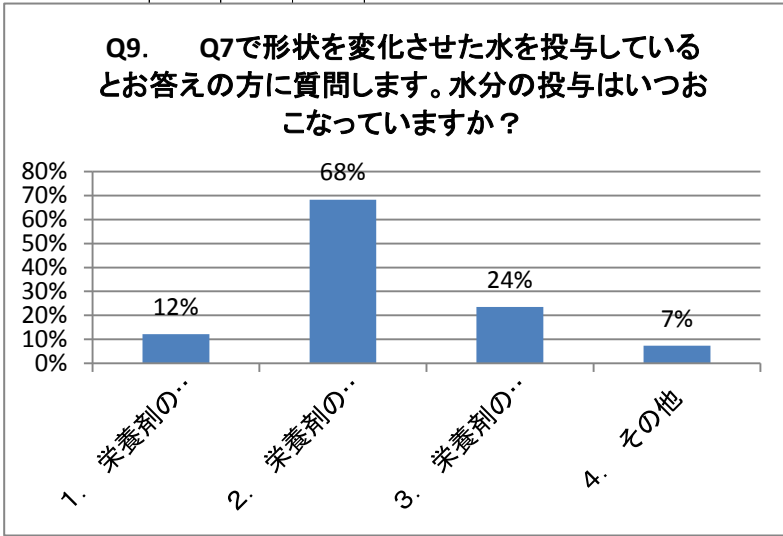
設問	件数	1.	2.	3.	4.		件数	平均	最小	最大	多回答	
Q8.		24%	47%	36%	2%		35	23	0	60	30	分前
	163	39	77	59	3							



分前	回答者数	
0	4	11%
1~ 5	3	9%
6~ 10	7	20%
11~ 15	2	6%
16~ 20	0	0%
21~ 30	14	40%
31~ 45	1	3%
46~ 60	4	11%

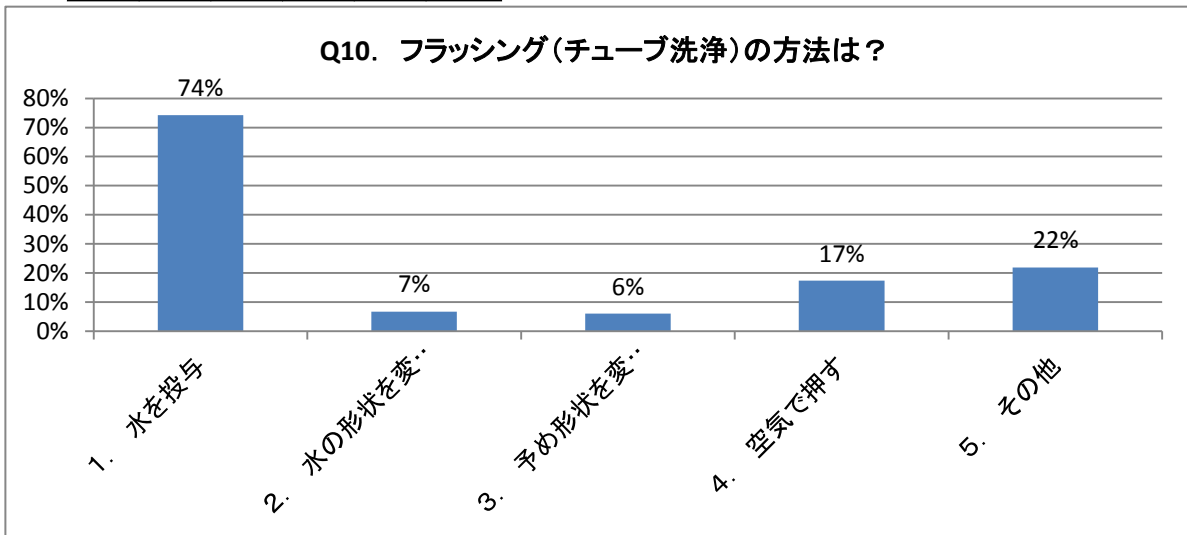
第3回『胃瘻と栄養についてのアンケート』

設問	件数	1.	2.	3.	4.		件数	平均	最小	最大	多回答	分前
Q9.		12%	68%	24%	7%		14	25	0	60	30	分前
	123	15	84	29	9							

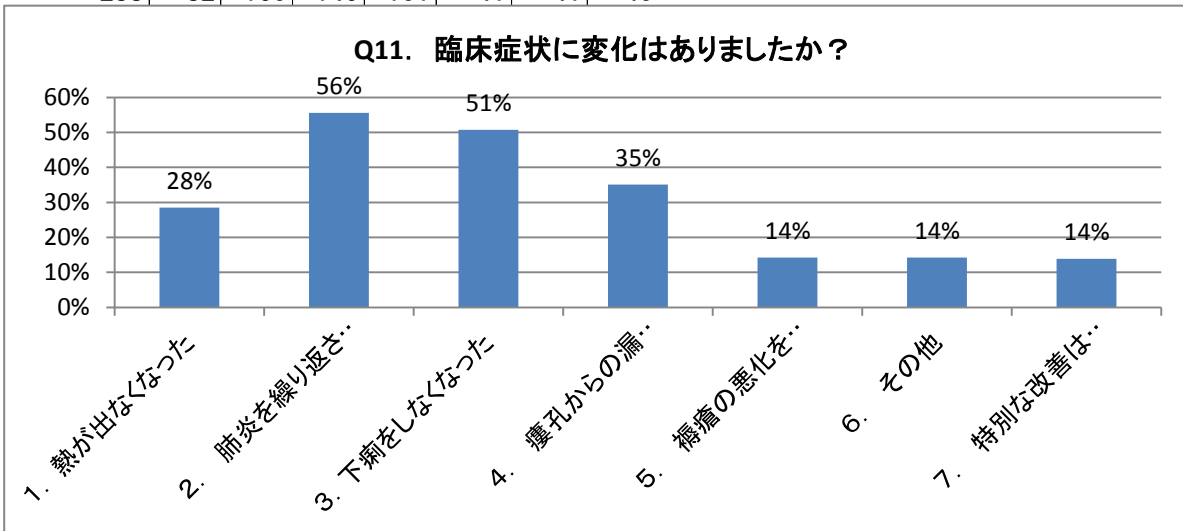


分前	回答者数	割合
0	2	14%
1~ 5	0	0%
6~ 10	1	7%
11~ 15	1	7%
16~ 20	0	0%
21~ 30	9	64%
31~ 45	0	0%
46~ 60	1	7%

設問	件数	1.	2.	3.	4.	5.	
Q10.		74%	7%	6%	17%	22%	
	283	210	19	17	49	62	

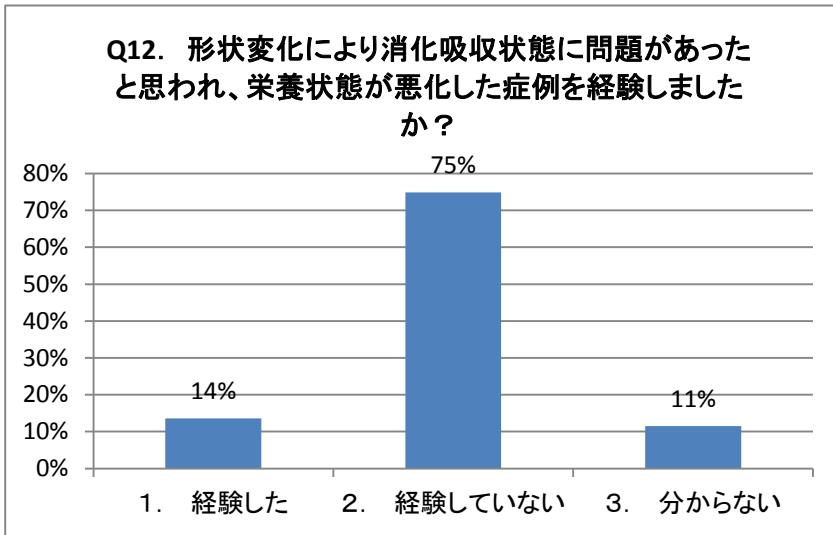


設問	件数	1.	2.	3.	4.	5.	6.	7.	
Q11.		28%	56%	51%	35%	14%	14%	14%	
	288	82	160	146	101	41	41	40	



第3回『胃瘻と栄養についてのアンケート』

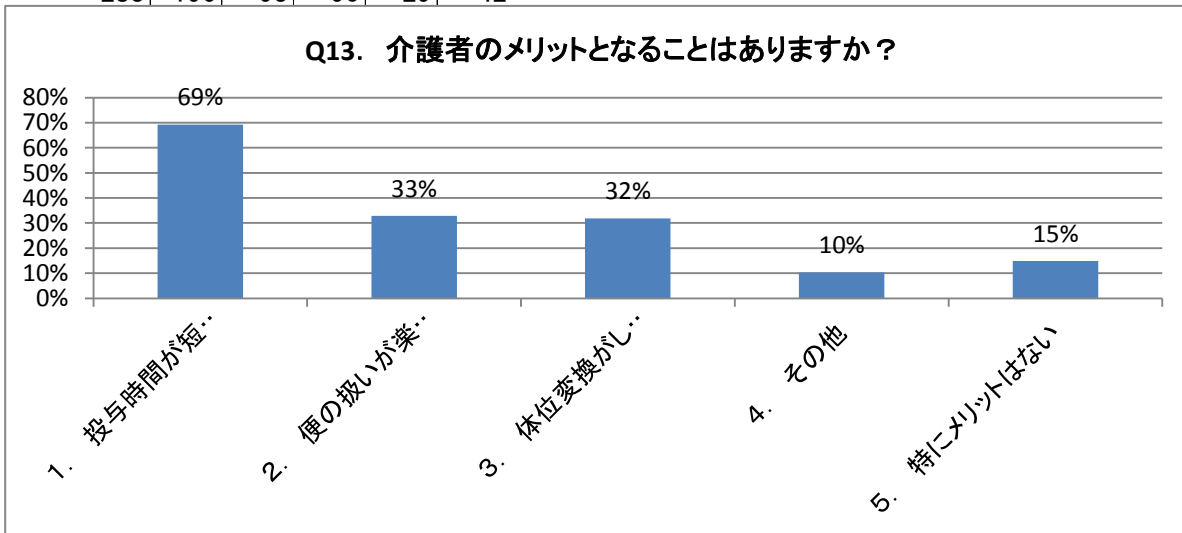
設問	件数	1.	2.	3.	
Q12.		14%	75%	11%	
	287	39	215	33	



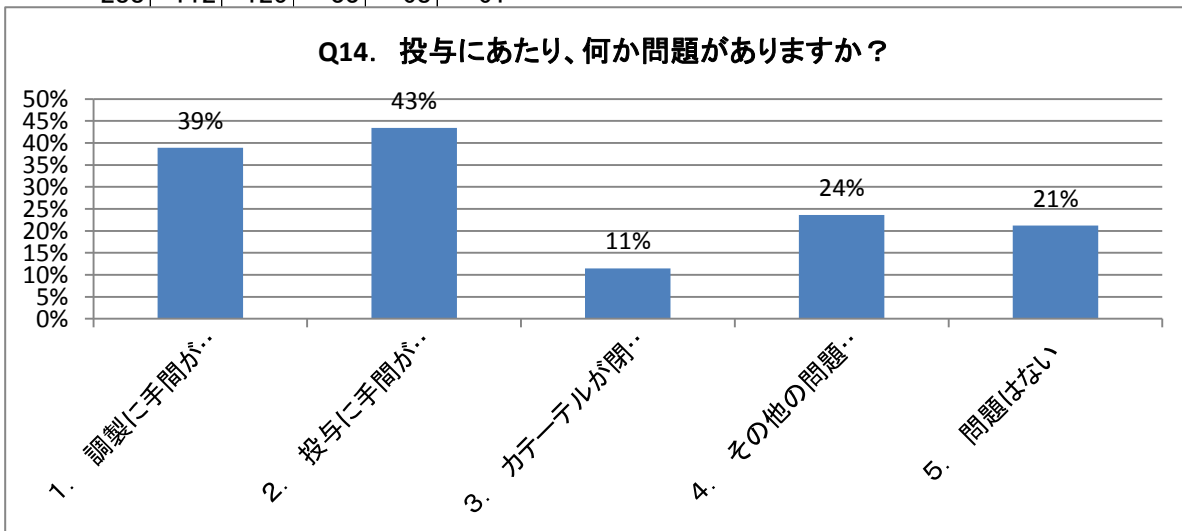
症例数	回答者数	割合
0	0	0%
1	9	26%
2	12	35%
3~	4	12%
5~	6	21%
7~	8	3%
9~	10	0%
11~	80	3%

34 件

設問	件数	1.	2.	3.	4.	5.	
Q13.		69%	33%	32%	10%	15%	
	283	196	93	90	29	42	

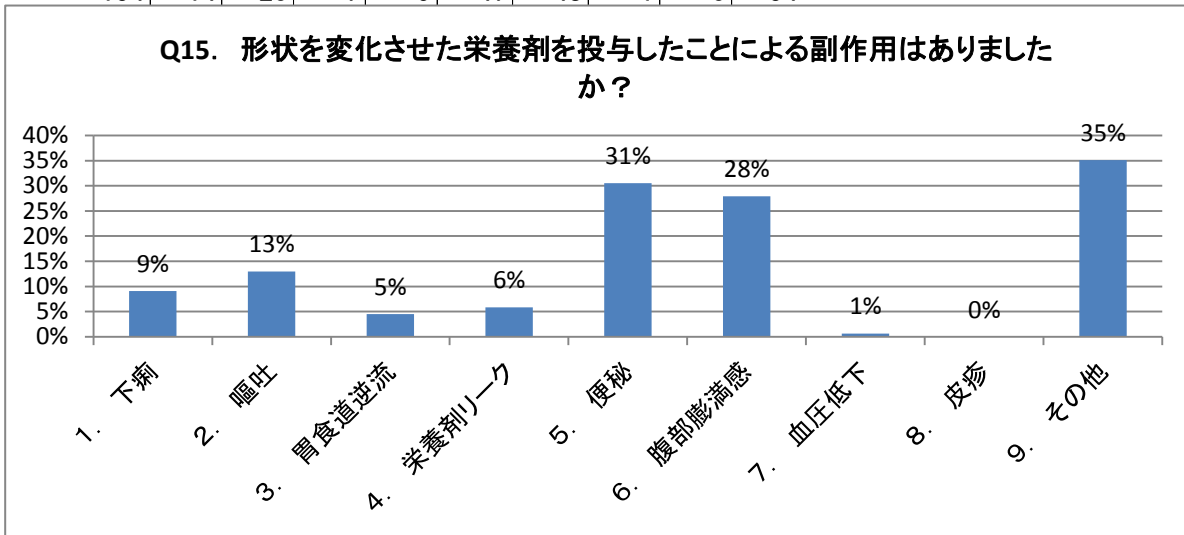


設問	件数	1.	2.	3.	4.	5.	
Q14.		39%	43%	11%	24%	21%	
	288	112	125	33	68	61	

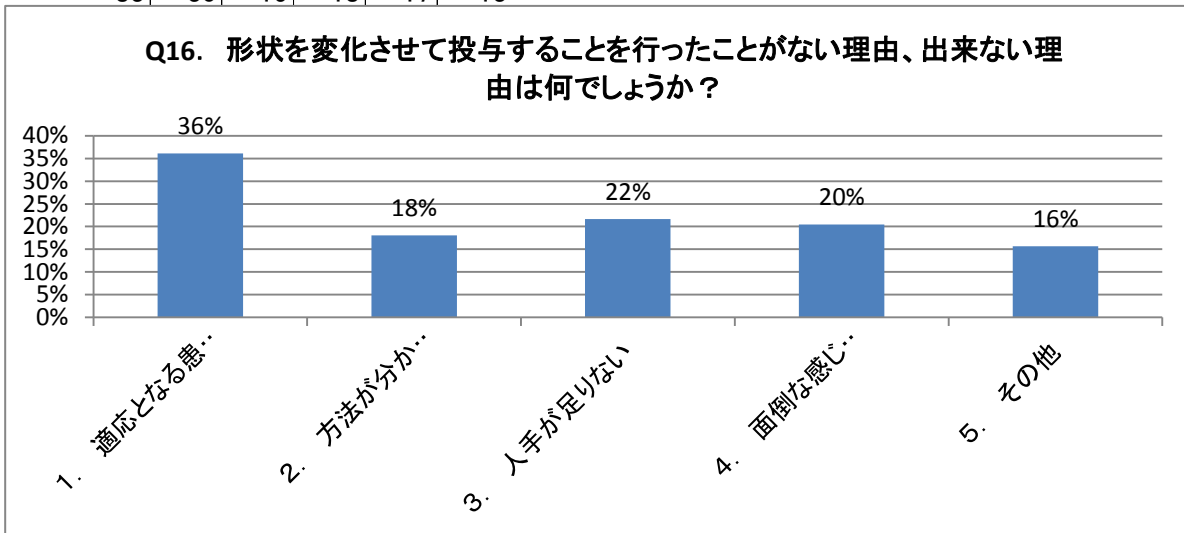


第3回『胃瘦と栄養についてのアンケート』

設問	件数	1.	2.	3.	4.	5.	6.	7.	8.	9.
Q15.		9%	13%	5%	6%	31%	28%	1%	0%	35%
	154	14	20	7	9	47	43	1	0	54



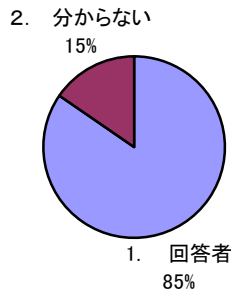
設問	件数	1.	2.	3.	4.	5.
Q16.		36%	18%	22%	20%	16%
	83	30	15	18	17	13



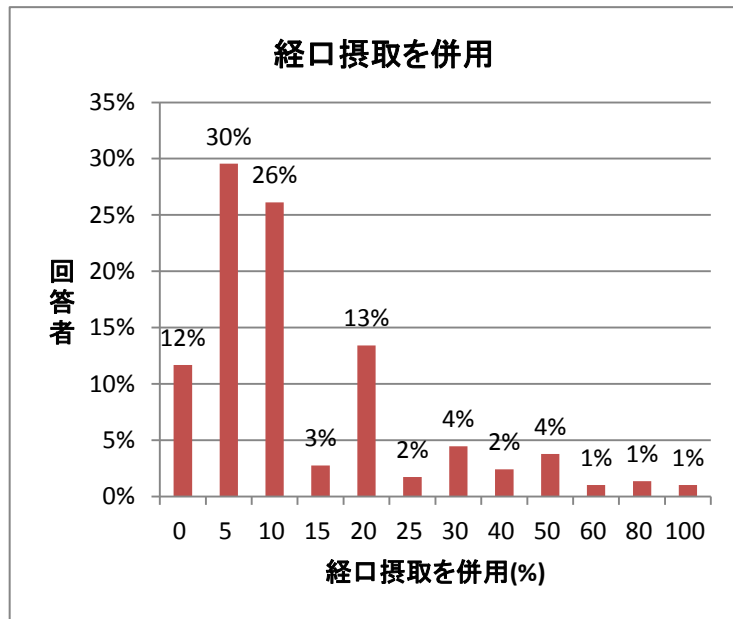
第3回『胃瘻と栄養についてのアンケート』

設問	件数	1.	2.		件数	平均	最小	最大	多回答
Q17.		85%	15%		289	14	0	100	10%
	344	291	53						

Q17. 胃瘻患者さんのうち、経口摂取を併用している患者さんはおおよそ何%くらいでしょうか？

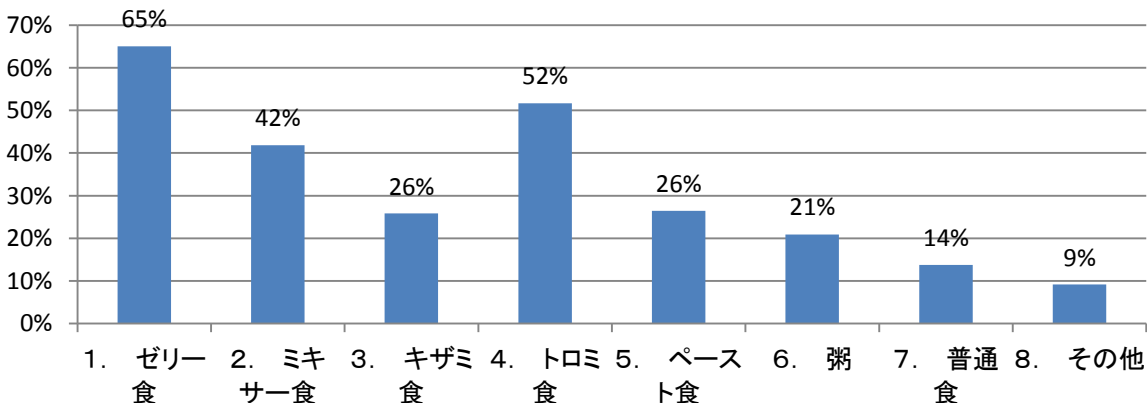


経口摂取を併用(%)	回答者数	割合
0～	0	34 12%
1～	5	86 30%
6～	10	76 26%
11～	15	8 3%
16～	20	39 13%
21～	25	5 2%
26～	30	13 4%
31～	40	7 2%
41～	50	11 4%
51～	60	3 1%
61～	80	4 1%
81～	100	3 1%



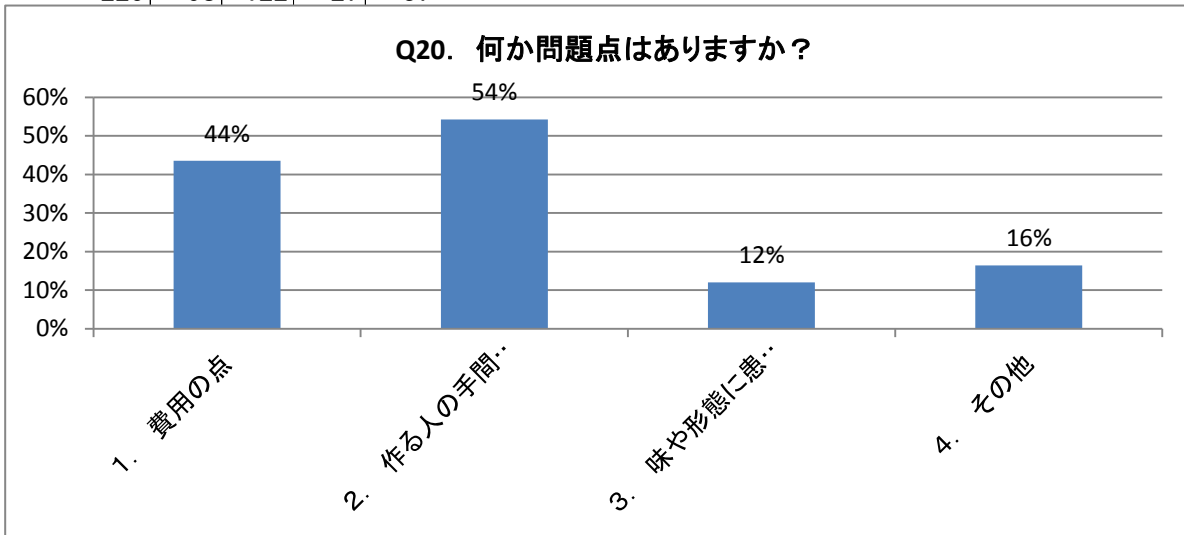
設問	件数	1.	2.	3.	4.	5.	6.	7.	8.
Q18.		65%	42%	26%	52%	26%	21%	14%	9%
	306	199	128	79	158	81	64	42	28

Q18. 経口摂取を併用している患者さんの場合、どのようなものを食べていますか？

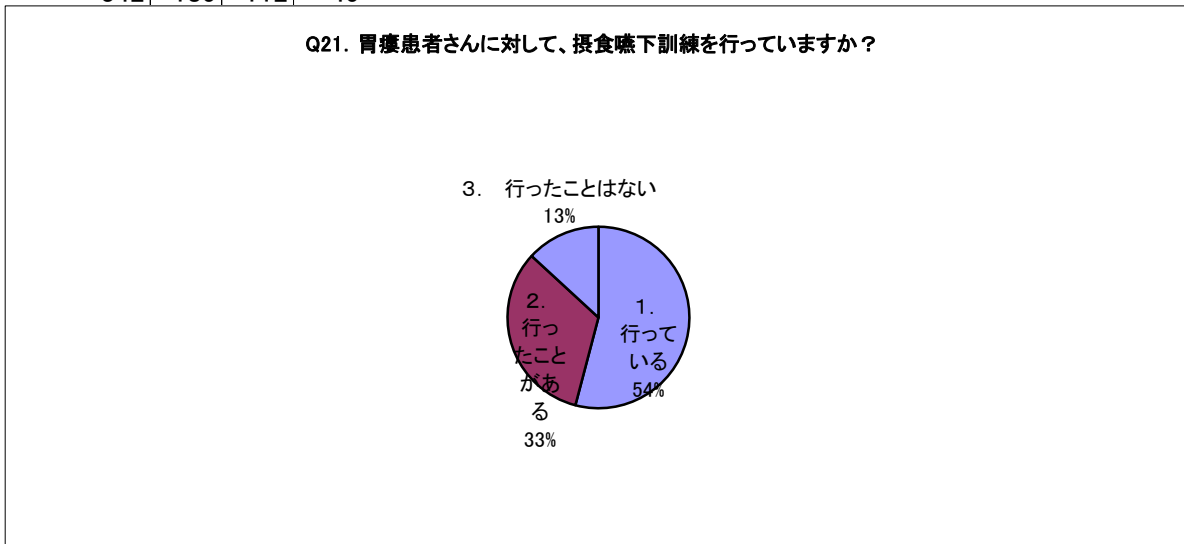


第3回『胃瘻と栄養についてのアンケート』

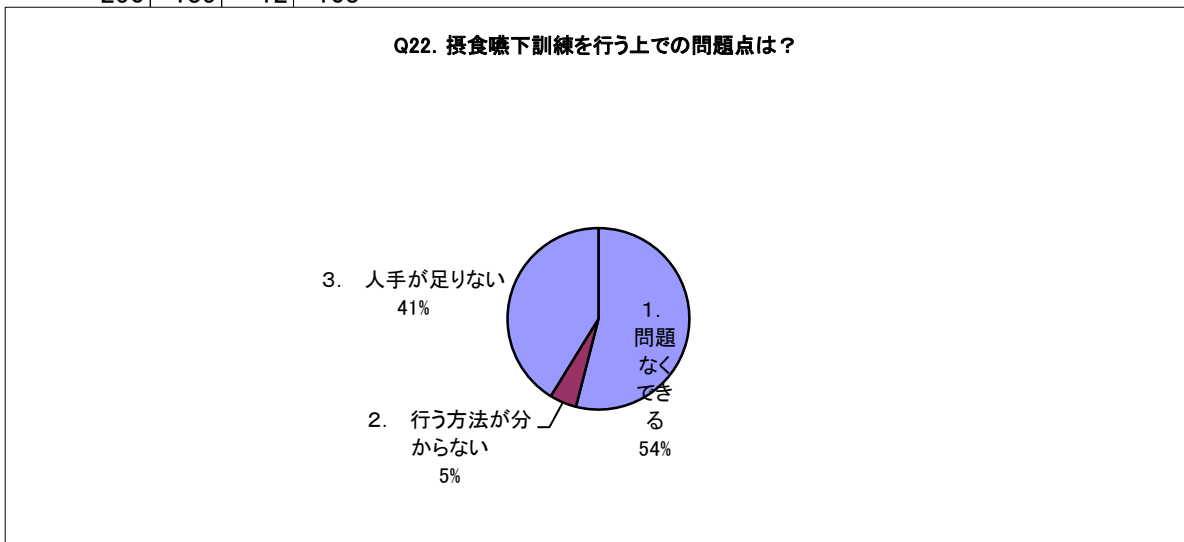
設問	件数	1.	2.	3.	4.
Q20.		44%	54%	12%	16%
	225	98	122	27	37



設問	件数	1.	2.	3.
Q21.		54%	33%	13%
	342	185	112	45

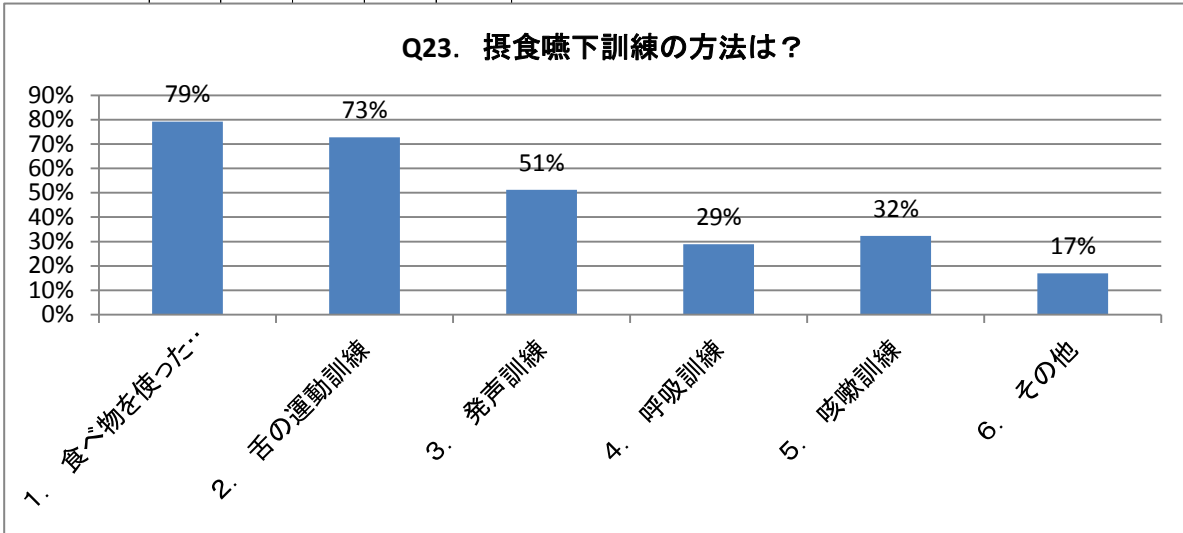


設問	件数	1.	2.	3.
Q22.		54%	5%	41%
	250	135	12	103

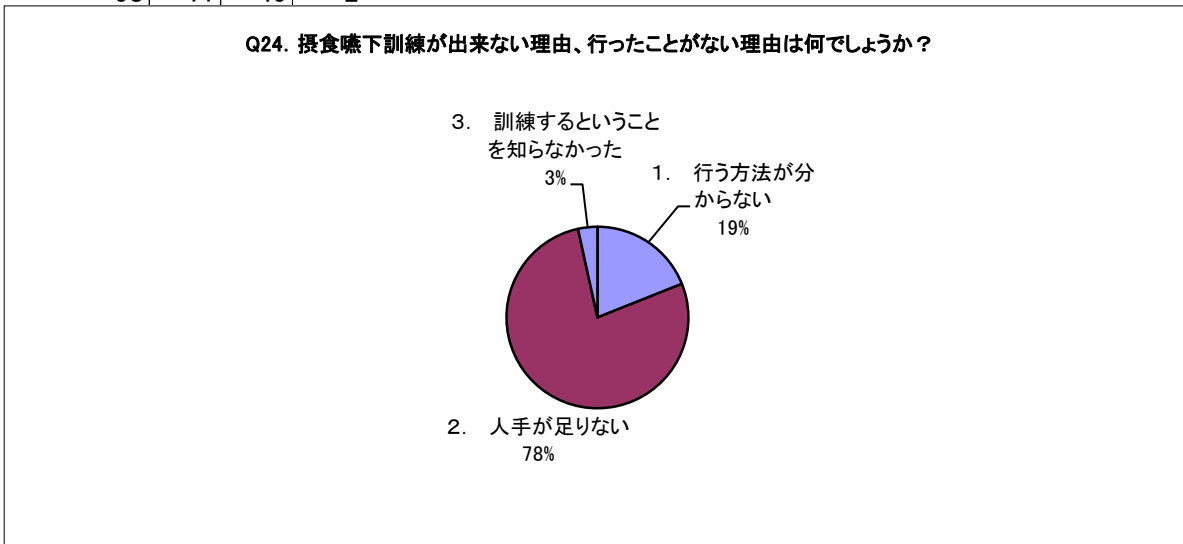


第3回『胃瘻と栄養についてのアンケート』

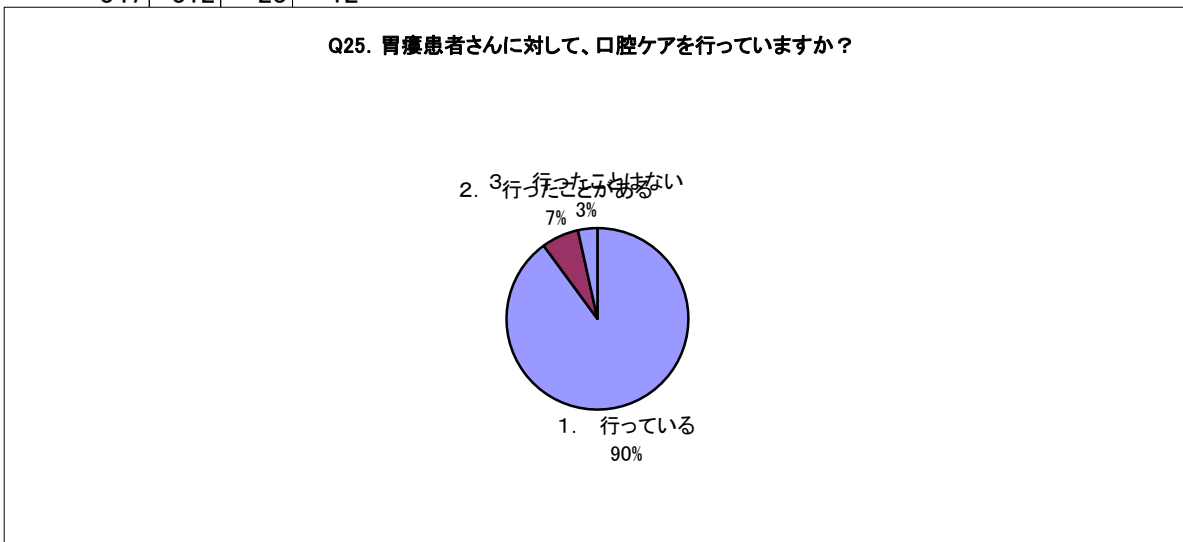
設問	件数	1.	2.	3.	4.	5.	6.
Q23.		79%	73%	51%	29%	32%	17%
		260	206	189	133	75	84



設問	件数	1.	2.	3.
Q24.		19%	78%	3%
		58	11	45

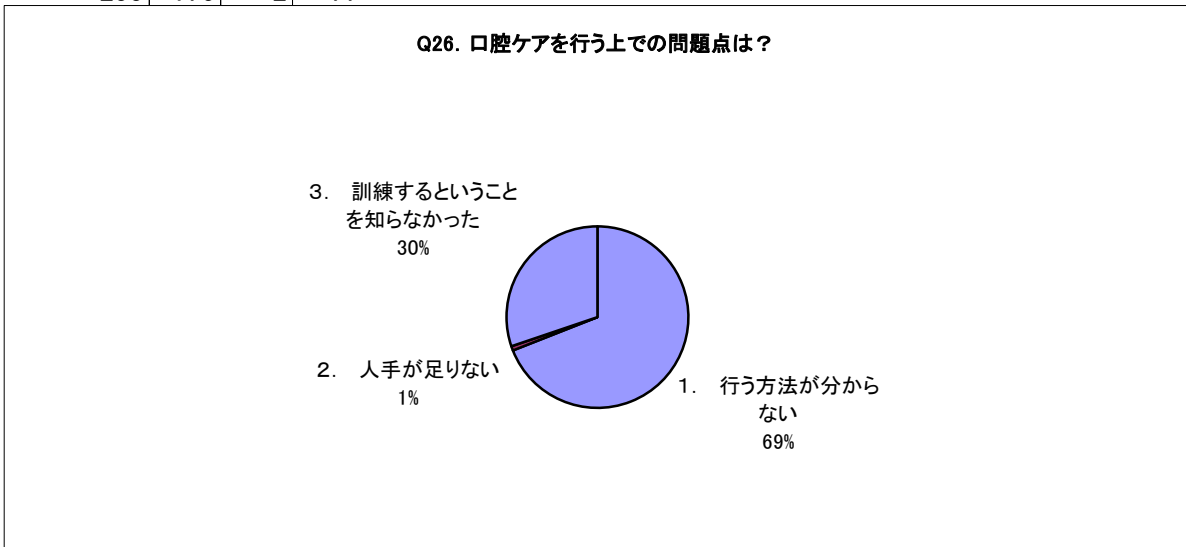


設問	件数	1.	2.	3.
Q25.		90%	7%	3%
		347	312	23

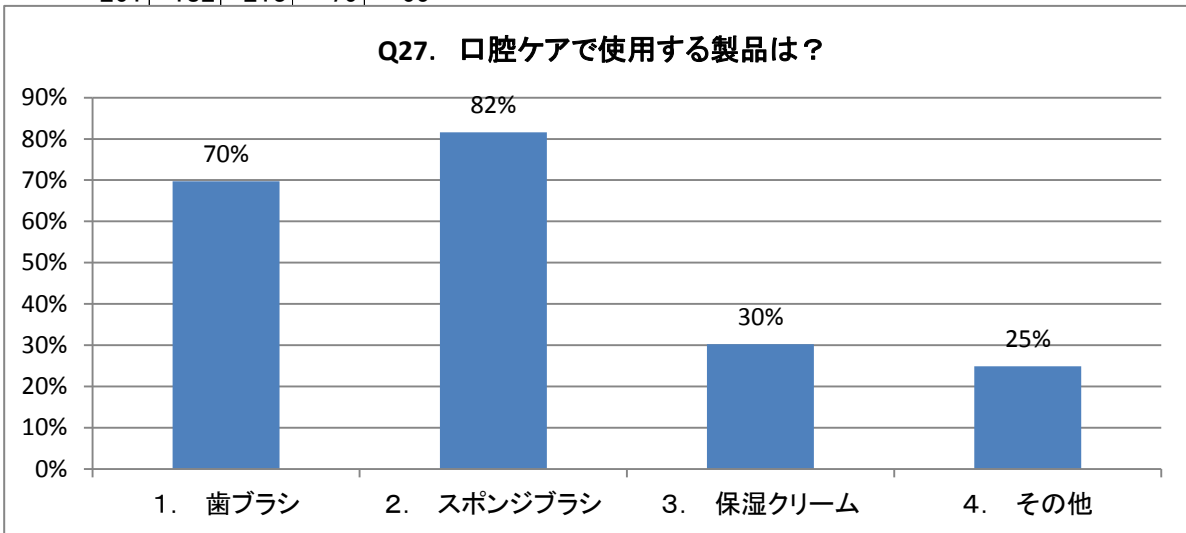


第3回『胃瘦と栄養についてのアンケート』

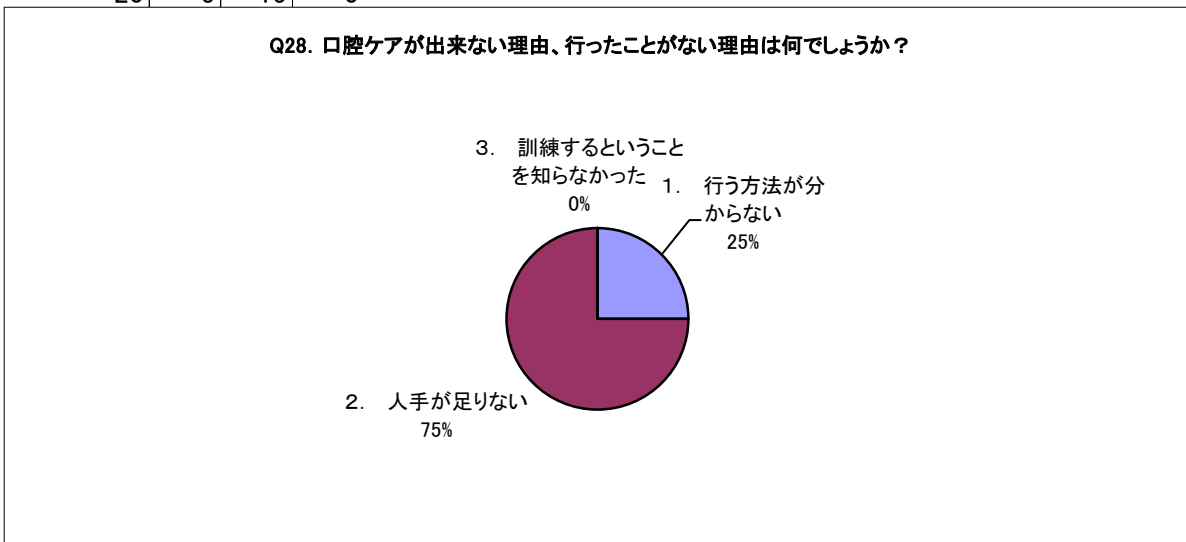
設問	件数	1.	2.	3.
Q26.		69%	1%	30%
	255	176	2	77



設問	件数	1.	2.	3.	4.
Q27.		70%	82%	30%	25%
	261	182	213	79	65

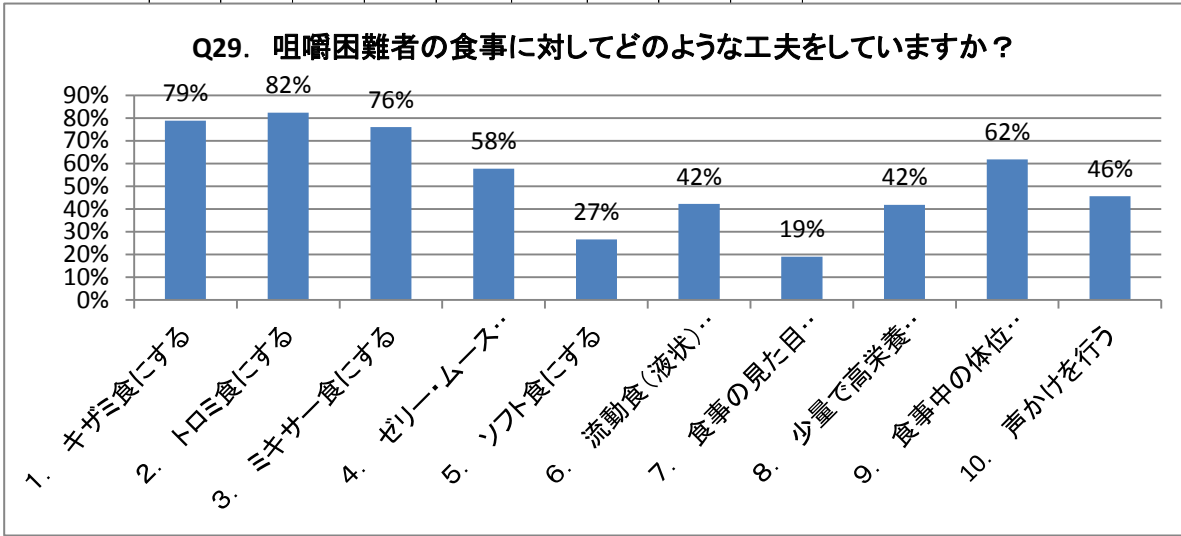


設問	件数	1.	2.	3.
Q28.		25%	75%	0%
	20	5	15	0

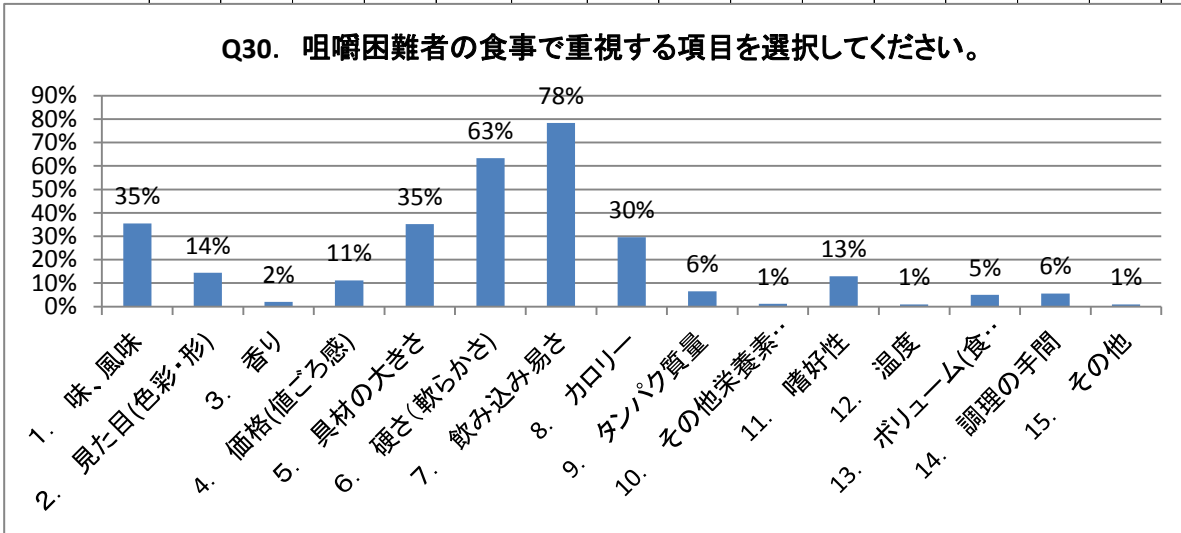


第3回『胃瘦と栄養についてのアンケート』

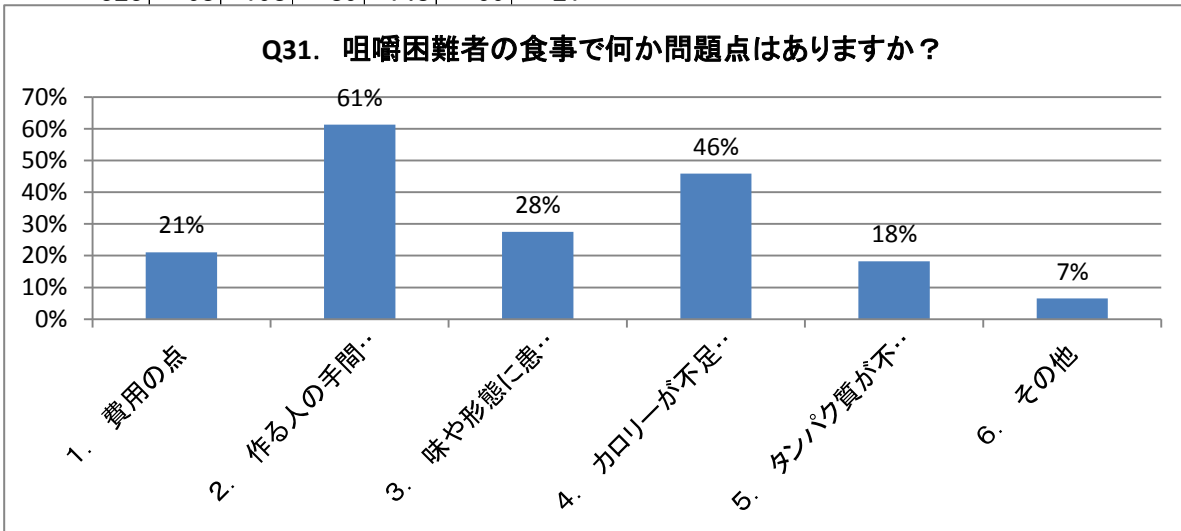
設問	件数	1.	2.	3.	4.	5.	6.	7.	8.	9.	10.	
Q29.		79%	82%	76%	58%	27%	42%	19%	42%	62%	46%	
		346	273	285	263	200	92	146	66	145	214	158



設問	件数	1.	2.	3.	4.	5.	6.	7.	8.	9.	10.	11.	12.	13.	14.	15.	
Q30.		35%	14%	2%	11%	35%	63%	78%	30%	6%	1%	13%	1%	5%	6%	1%	
		341	121	49	7	38	120	216	267	101	22	4	44	3	17	19	3



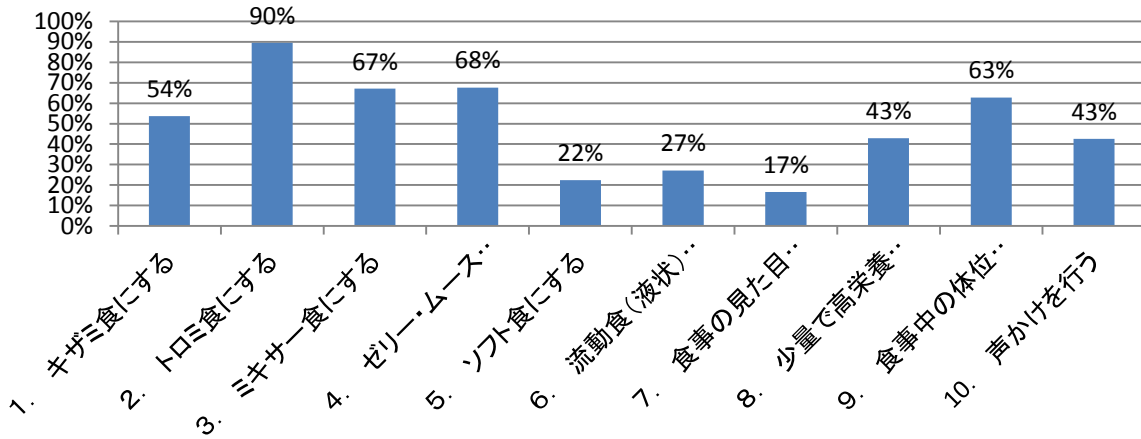
設問	件数	1.	2.	3.	4.	5.	6.	
Q31.		21%	61%	28%	46%	18%	7%	
		323	68	198	89	148	59	21



第3回『胃瘦と栄養についてのアンケート』

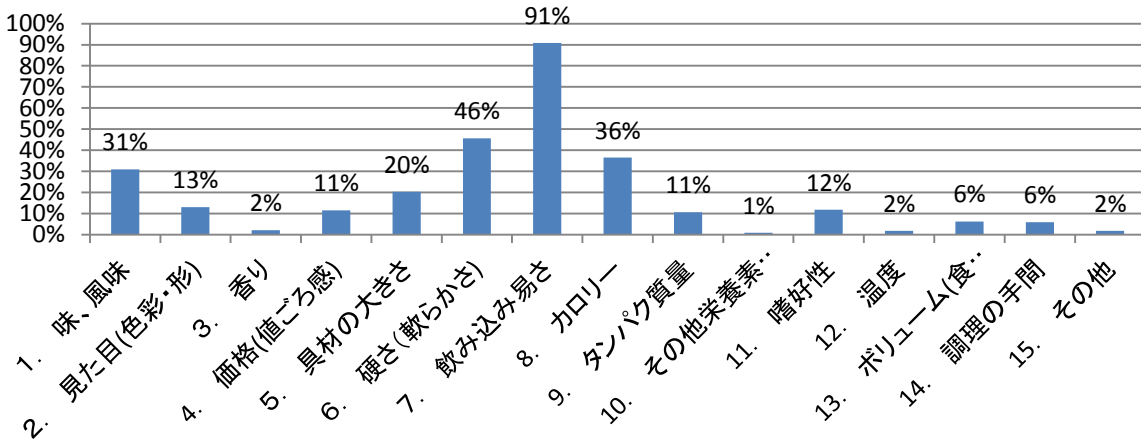
設問	件数	1.	2.	3.	4.	5.	6.	7.	8.	9.	10.	
Q32.		54%	90%	67%	68%	22%	27%	17%	43%	63%	43%	
		343	184	307	230	232	77	93	57	147	215	146

Q32. 嚥下困難者の食事に対してどのような工夫していますか？



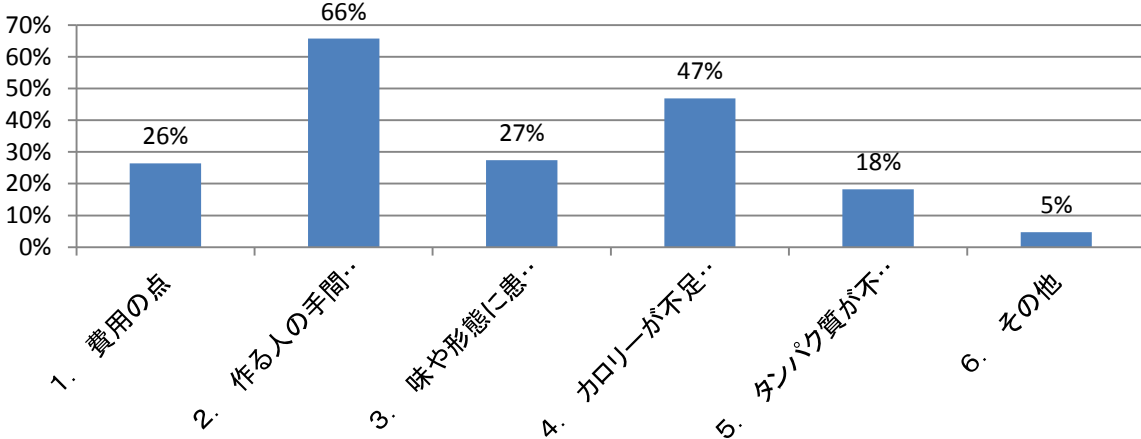
設問	件数	1.	2.	3.	4.	5.	6.	7.	8.	9.	10.	11.	12.	13.	14.	15.	
Q33.		31%	13%	2%	11%	20%	46%	91%	36%	11%	1%	12%	2%	6%	6%	2%	
		340	105	44	7	39	69	155	309	124	36	3	40	6	21	20	6

Q33. 嚥下困難者の食事で重視する項目を選択してください。



設問	件数	1.	2.	3.	4.	5.	6.	
Q34.		26%	66%	27%	47%	18%	5%	
		318	84	209	87	149	58	15

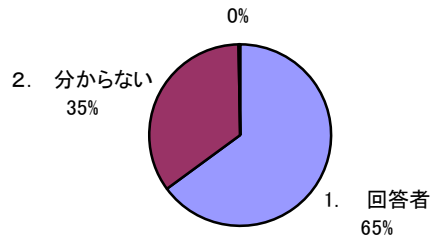
Q34. 嚥下困難者の食事で何か問題点がありますか？



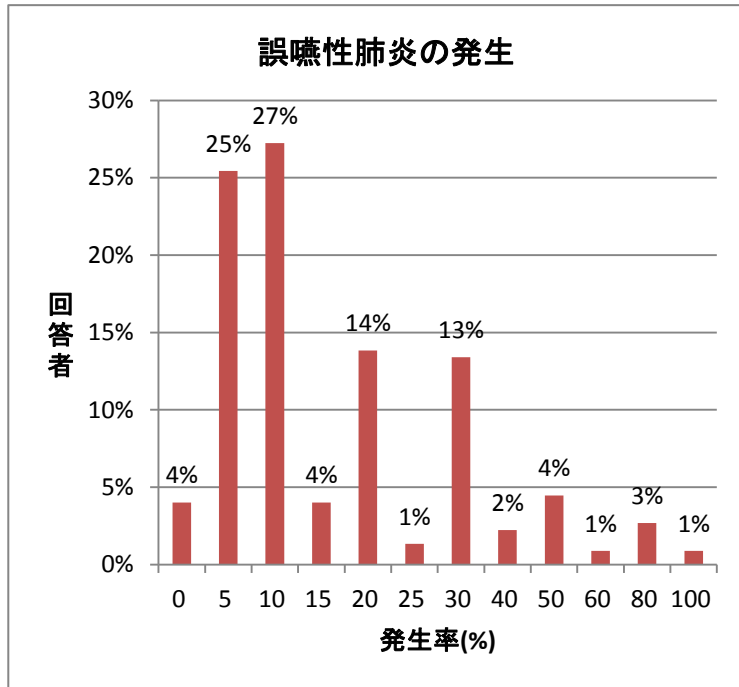
第3回『胃瘦と栄養についてのアンケート』

設問	件数	1.	2.		件数	平均	最小	最大	多回答
Q35.		65%	35%	0%					1
	345	224	120	1	225	18	0	100	10%

Q35. 逆流による誤嚥性肺炎は胃瘦患者さんのうちおおよそ何%くらい発生していますか？



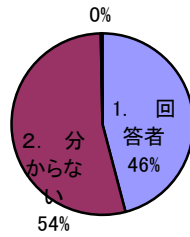
誤嚥性肺炎の発生(%)	回答者数	割合
0～	0	9 (4%)
1～	5	57 (25%)
6～	10	61 (27%)
11～	15	9 (4%)
16～	20	31 (14%)
21～	25	3 (1%)
26～	30	30 (13%)
31～	40	5 (2%)
41～	50	10 (4%)
51～	60	2 (1%)
61～	80	6 (3%)
81～	100	2 (1%)



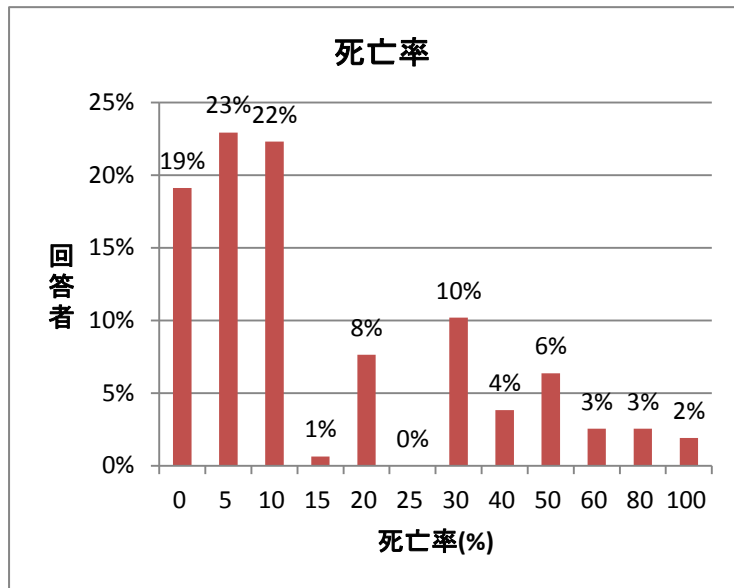
第3回『胃瘻と栄養についてのアンケート』

設問	件数	1.	2.		件数	平均	最小	最大	多回答
Q36.		46%	54%	0%	157	18	0	100	10%
	342	157	184	1					

Q36. 逆流による誤嚥性肺炎が原因となる死亡率はおおよそのくらいでしょうか？

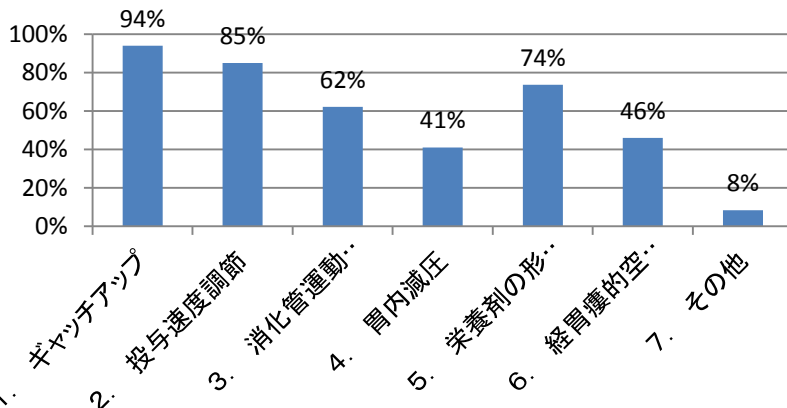


死亡率(%)	回答者数	割合
0~	0	19%
1~	5	23%
6~	10	22%
11~	15	1%
16~	20	8%
21~	25	0%
26~	30	10%
31~	40	4%
41~	50	6%
51~	60	3%
61~	80	3%
81~	100	2%



設問	件数	1.	2.	3.	4.	5.	6.	7.	平均	最小	最大	多回答	
Q37.		94%	85%	62%	41%	74%	46%	8%	ギヤッチアップ	42	10	90	30
	346	325	294	215	142	255	159	29					° 程度

Q37. 逆流による誤嚥性肺炎への対応策としてどのようなことをされていますか？



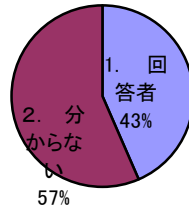
角度(°)	回答者数	割合
0~	10	2%
11~	20	3%
21~	30	46%
31~	40	2%
41~	45	24%
46~	50	1%
51~	60	18%
61~	70	3%
71~	80	0%
81~	90	4%

件数 258

第3回『胃瘻と栄養についてのアンケート』

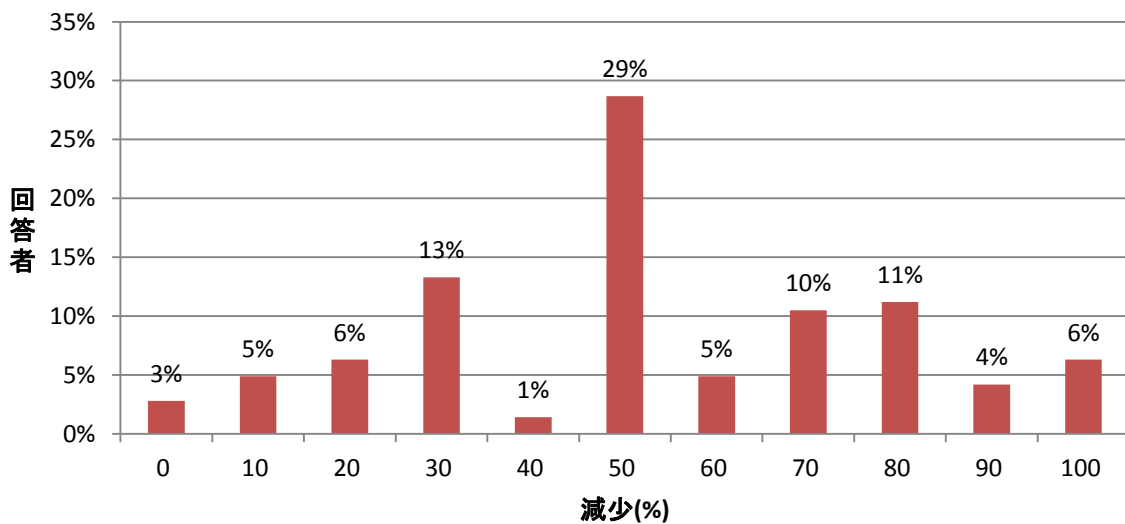
設問	件数	1.	2.		件数	平均	最小	最大	多回答	
Q38.		43%	57%		減少	135	53	0	100	50 %
	329	143	186							

Q38. 栄養剤の形状変化によって、逆流による誤嚥性肺炎はどの程度減少したと思われますか？



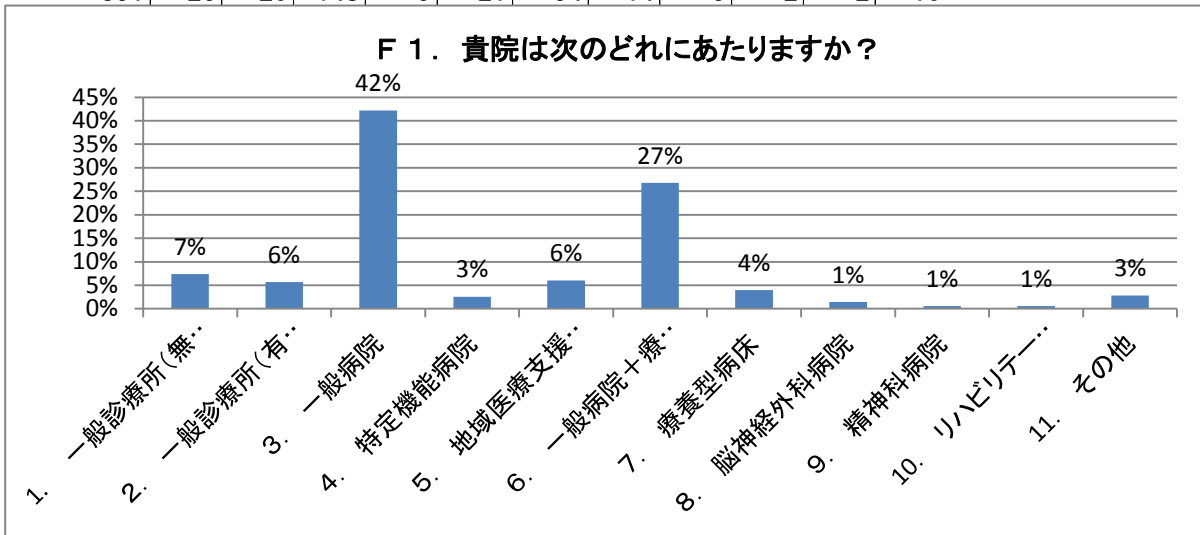
誤嚥性肺炎の減少(%)	回答者数	割合	
0～	0	4	3%
1～	10	7	5%
11～	20	9	6%
21～	30	19	13%
31～	40	2	1%
41～	50	41	29%
51～	60	7	5%
61～	70	15	10%
71～	80	16	11%
81～	90	6	4%
91～	100	9	6%
		0	

誤嚥性肺炎の減少

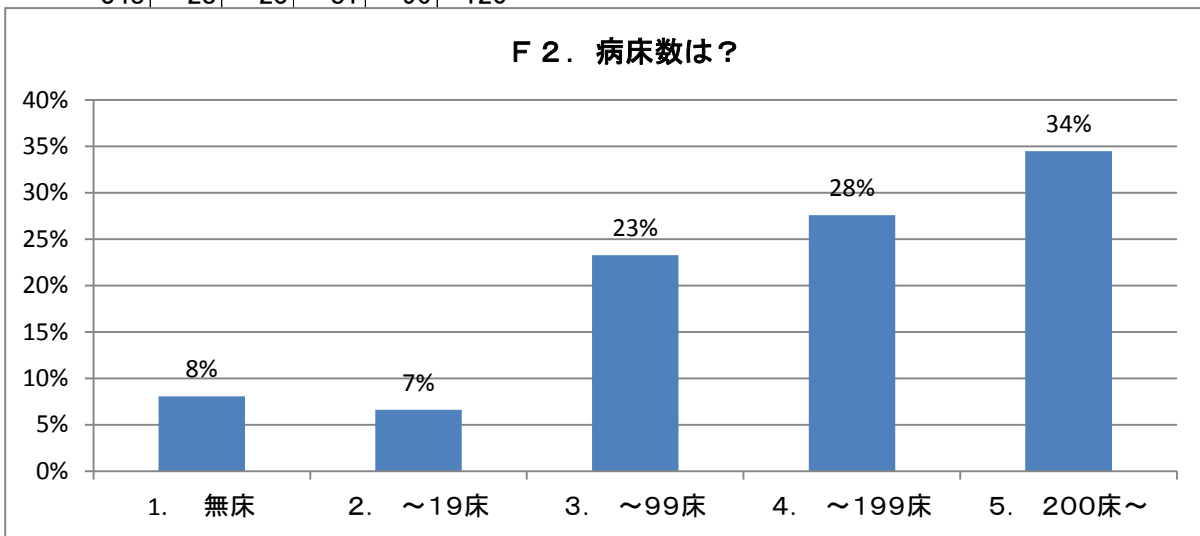


第3回『胃瘠と栄養についてのアンケート』

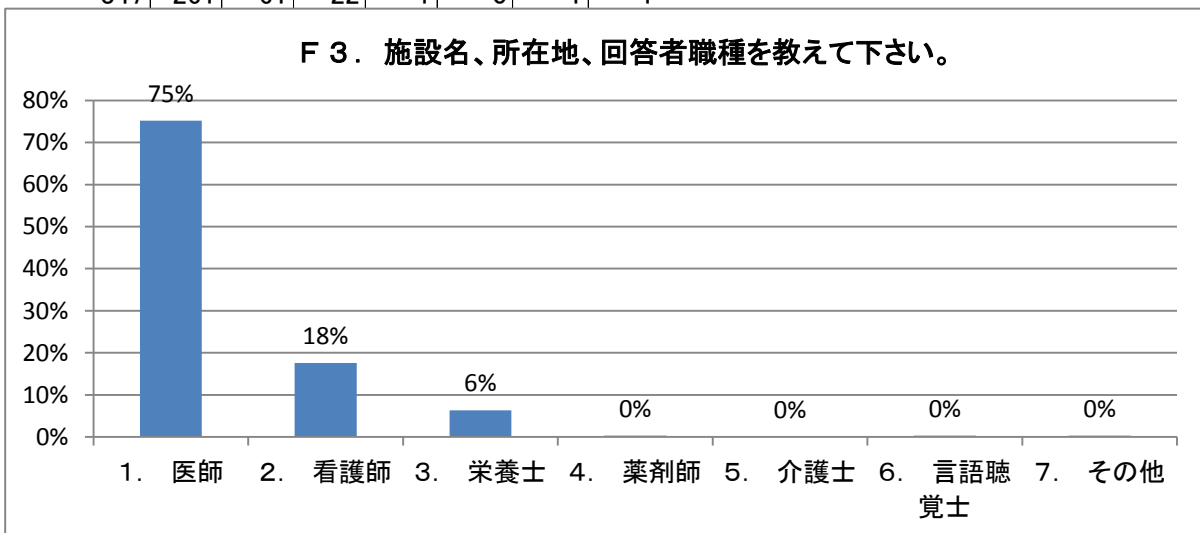
設問	件数	1.	2.	3.	4.	5.	6.	7.	8.	9.	10.	11.
F 1.		7%	6%	42%	3%	6%	27%	4%	1%	1%	1%	3%
	351	26	20	148	9	21	94	14	5	2	2	10



設問	件数	1.	2.	3.	4.	5.
F 2.		8%	7%	23%	28%	34%
	348	28	23	81	96	120



設問	件数	1.	2.	3.	4.	5.	6.	7.
F 3.		75%	18%	6%	0%	0%	0%	0%
	347	261	61	22	1	0	1	1



Q19. 経口摂取を併用している胃瘻患者さんの食事に対してどのような工夫していますか？	複数回答者件数
STが段階を経てステップアップ。STと打ち合わせて嚥下に関する食料を作成 胃瘻適応の患者には経口摂取前ST評価を入れるようにして、コメントを見てから食事の工夫が必要なPtにはそれに合った形態の食事を出すようにしている 形態や量はSTと相談して個別対応 昼食時にSTが介助観察している 定期的にNSTのチェック 肺炎防止のためST(言語聴覚士)による評価を行っている 毎週嚥下カンファ(医師、ST、管理栄養士)を実施しきめ細かな個別対応をしている 管理栄養士&言語聴覚士&看護師任せ 管理栄養士を在宅訪問させている	7
VEを実施して、適切な栄養形態を探る 栄養補助食品を付けてもらっている エネルギーの過不足のないように。誤嚥しないように 加工食品の利用 カロリーの調節 試供品使用中 総カロリー 嚥下機能が上向きか、下向きかを定期的に評価している 嚥下機能に応じた食事形態を選択 嚥下機能に準じて食事を検査し胃瘻栄養量を考えている 嚥下障害を起こさないように少量に留めて 嚥下能力の持久性に合わせ数口の摂取で制限しながら漸増減 お楽しみ程度で食べていることが多く、できるだけムセがないような食形態、姿勢をとるようにしている 嚥下し易く、口腔ケアをしっかりとする	3
Q18の内容で嚥下の状態に合わせ、随時観察、嚥下訓練を行いながら食事形態を工夫している 嚥下訓練食として各々に工夫 嚥下訓練段階により段階分けて作成、調整中 口腔ケアや嚥下訓練、体操などをきちんと行ってから食事をする。楽しく食べられるよう工夫する 口腔ケアをしっかりと行う。摂食嚥下訓練を行う 少量ずつ始める。嚥下訓練に伴い形状を変えていく 食事前後の口腔ケア 食事前リハビリ(頸部ストレッチ、顎の運動、発語の練習) 自律性尊重。摂取方法指導。ムセが強い時は経管へ スタッフが付いて行う スタッフの多い昼食に限定していることが多い(誤嚥を防止するため) 摂食、嚥下、リハビリ、口腔ケアの監視 摂食嚥下アセスメントを実施して後にペースト食から開始する 摂食前に口腔ケア、嚥下訓練、体操、訪問STの利用 飲み込む訓練ができるよう段階的に食事の提供 人手の都合上、朝夕は胃瘻で投与、昼に介助で経口 マンパワーが十分な平日(昼のみ)に行っている 嚥下ピラミットに見合ったレベルでの対応を心掛ける 一品食から徐々にアップする。①ゼリー、プリン、ヨーグルト等一品②主食:スベラカーゼ粥、副食:ペースト食1/2③主食:軟飯、副食:ミンチキザミにあんかけでトロミを付ける	3
嚥下し易い食事 嚥下し易いもの、ムセ難いものになっている。水分はツルリンコ使用し、固めたりしている 嚥下し易いようなものを投与、味や気分を重視している 嚥下し易いようにゼラチンゼリーとしている 嚥下障害などの状態で楽しみ程度の方は出来る範囲で嗜好に合わせる。食欲のあまりない方は1/4食など嗜好以外に量の調節も行う	3
嚥下障害の状態に応じた食種選び 嚥下障害の判定をして無の患者には量は少ないが常食に近い物を提供する 嚥下食の使用 嚥下食を当院独自に作成し、食べやすい食形態にしている 大きさの工夫 嚥下造影、アイスマッサージ、好みに合ったもの 嚥下造影に合わせてかける時間やスプーンの大きさを考慮 嚥下造影をして形態を改定している 介助時に誤嚥しない様注意している 介助者の管理下で昼食を主に摂取してもらっている 家族の希望と介護力、本人の意識状態により形状や時間を考える	3
ゆっくりロー口摂取を時間をかけて介助で行っている	2

Q19. 経口摂取を併用している胃瘻患者さんの食事に対してどのような工夫していますか？	複数回答者件数
口腔摂取が終わってから注入。空腹で摂取できるよう時間も配慮	
摂取量に合わせて栄養剤および水分摂取量を調節する	
摂取量に応じて、経腸栄養剤の量を調節する	
摂食嚥下し易いように、かつ飽きないように	
3食の内、1食を経口、2回をPEGを使用	
PEGから入れるよりも経口からを重視。食べる量によりPEGからの量を増減している	
PEG食にして経口摂取の後、残りを注入している	
栄養は胃瘻から。経口は楽しみのためと考えており個人の好みに任せている。3食出すわけではない	
経口、経管の時間の調整(例えば半量食べた後でPEG等)	
経口摂取が多い時は胃瘻栄養を減らす	
経口摂取カロリーと注入食カロリーを計算。太り過ぎないようにする	
経口摂取後に栄養注入(満腹感のない時に経口を勧める)	
経口摂取時に空腹であるよう注入時間との間隔を空けている	
経口摂取し易い形態を用い、残りをミキサー食とする	3
経口摂取の量に合わせて胃瘻よりの注入量を変えるよう家族に説明	
経口摂取量が少ない時に、また水分補給する為	
経口摂取量に合わせて胃瘻よりの注入量を調節する	2
経口摂取を先にして注入はその後、1~2H後に行う	
経口を主、胃瘻は補助	
合計カロリーを指示し、経口で不足分をPEGから入れる	
個々の状態に対応する。水分でむせる人は水飲みチューブからとか、経口でいけるだけいって残りをミキサーしてチューブからとか	
主たる栄養はできるだけPEGより投与、経口摂取は本人の満足が得られる適量で	
少量から始め、あまり量には拘らない	
食事摂取量に応じて胃瘻からの注入量を決める。胃瘻の注入は朝夕とし、昼にゼリー食を摂取。ハーフ食の導入。患者ごとの食事回数の対応	
楽しく食べられるように好物を中心に経口摂取を行っている	
食べやすい形態、量、嗜好など患者個々の希望に対応している	2
食べやすく誤嚥しにくいもの	
食べる楽しみ。味、舌ざわり等を重視	
注入速度、ベッドUp、経口摂取量により注入食の量を調整	
なるべく経口摂取を増やす方向	
併用総栄養量、水分の調整。嚥下、むせと粘度、一口量、嗜好に合わせる	
本人の摂食状況に順じて	
本人の好きな物を食べていただき、「食の楽しみ」を感じてもらう	3
味覚、舌ざわりによる満足感を得てもらうように	
少しでも形態を全粥へ上げる	
食べる楽しみを目的に好まれるものを食べやすい形態にしている	
キザミ食、トロミ食、ゼリー食	15
ギャッチアップ等体位。トロミ等	2
口当たりの良いもの	
消化の良いものでトロミを付けている	
状態に応じて上記の選択をする	
食事量、トロミを付ける。体位	
水分等にはトロミを付け食事介助を行っている	3
水分等して胃瘻から	2
水分にトロミを付ける。食べる時のポジショニングが安定するようにする	
水分や朝など介護者が時間が取れない時はPEG89投与	
咀嚼、嚥下し易いように患者さんの状態に合わせてミキサー食や粥を選んでいる。できるだけ自分で食べ	
その人それぞれに合った食事形態	
体位、一口の量、形状(トロミアップ使用)	
飲み込み易い食形態	2
半流動形態で且つ舌の圧迫で食物がつぶれる硬さにしている	2
一口量の物を何種類か提供	
ペーストは引っ掛けやすいので寒天お粥にしている	
ミキサー、トロミ等流動食にしている	
ムセ誤嚥し易い食品は提供しない様、トロミの付け具合や水分補給のため、お茶ゼリー、ポカリゼリー等も	
用いている	
「お楽しみ」に重点を置いたり誤嚥してもなるべく肺炎を生じにくいよう脂肪を含まれるものになっている	
誤飲しない様、飲み込み易いもの、美味しいもの	
誤嚥しない形態	4
誤嚥しない様、患者の嚥下状態と好みに合わせるようにしている	

Q19. 経口摂取を併用している胃瘻患者さんの食事に対してどのような工夫していますか？	複数回答者件数
誤嚥しないようにと口腔ケア	
誤嚥防止	14
誤嚥防止のため、ゆっくり食べさせている	2
誤嚥留意しつつ、嚥下機能の維持向上	
できるだけ液状のものを避け、誤嚥を予防している	
粘稠性を上げ誤嚥防止する。姿勢、口腔ケアに心がける	
嚥下がゆっくりであるため、食事時間をかけている	
時間の間隔をあける	
時間をかける。無理に多くの量を食べさせない	
少量をゆっくり	
注入の時間をずらす	
注入の前に摂取してもらっている	
注入は食後に行う	
量と経管注入の時間帯を人によって変えている	
姿勢の保持のみ	
姿勢を含めPT,OTのリハビリテーション	
体位の工夫	
体位の工夫、経口摂取後に胃瘻から注入する	
PEGを造設した理由にもよるが摂食障害の為PEG造設Ptには少しでも食べる喜び、楽しみを考え誤嚥の危険の少ない出来る時は見ために配慮したソフト食	
食べれるだけで無理はしない	3
好きな物を少量でも	
その日の状態に応じて無理に食べさせない	
調子の良い時に少量で良いから無理をせず	
飽きない様、また食べたくないと本人が意思表示を示す際に無理に勧めないようにする	
患者さんの希望に添うこと	
患者の嗜好に合わせて、なおかつ栄養価の高いものを取り入れている	
嗜好面に配慮した食事の提供	4
食事はQOLを上げることでOK	
楽しめることを中心に	
認知の正常の方はなるべく見た目も考慮しています	
物理的な栄養摂取よりメンタル的な満足度を得るように指導	
主治医任せ	
通常通り	
特にしていない	16